

日本語



LAUNCHCONTROL^{XL}



Launch Control XL 3 ユーザーガイド

Version 2.0

目次

Launch Control XL 3 - はじめに	4
同梱品	4
始めるには Launch Control XL 3	5
Launch Control XL 3 の接続および電源供給	5
イージースタート	7
トラブルシューティング	8
Launch Control XL 3 ハードウェア概要	9
Launch Control XL 3 のトップパネル	9
Launch Control XL 3 のリアパネル	20
Launch Control XL 3 でカスタムモードを使用する	23
カスタムモード設定を変更する	24
Novation Components で Launch Control XL 3 のカスタムモードを作成する	25
Launch Control XL 3 を DAW 以外で使用する	26
Launch Control XL 3 で外部機器をコントロールする	27
Launch Control XL 3 で複数の機器をコントロールする	28
Launch Control XL 3 をハイブリッドなセットアップで使用する	30
Launch Control XL 3 を音楽以外の用途に使用する	31
Launch Control XL 3 で DAW をコントロールする	32
Launch Control XL 3 で Ableton Live 	32
Launch Control XL 3 で Logic Pro 	46
Launch Control XL 3 で Cubase 	57
FL Studio を Launch Control XL 3 でコントロールする	71
Bitwig Studio を制御する Launch Control XL 3	78
使用して Launch Control XL 3 他の DAW と	84
Launch Control XL 3 の Settings (設定) ページ	87
ブートルoaderモード	87
Launch Control XL 3 仕様	89
技術仕様	89
重量および寸法	90
Launch Control XL 3 保守パーツ	90
Launch Control XL 3 付録	91
デフォルトモード (16) のパラメータ	91
その他の情報	92
トラブルシューティング	92
商標	92
免責事項	92

著作権および法定通知	92
謝辞	94

Launch Control XL 3 - はじめに

Launch Control XL 3 は、DAW やソフトウェアシンセ、エフェクト、外部ハードウェアを USB または MIDI ポート経由でコントロールするための MIDI コントロール・サーフェスです。24 のエンドレス・エンコーダー、16 のプログラム可能なボタン、専用のトランスポート・コントロール、そして OLED ディスプレイを備えます。

- **創造性を刺激するコントロール・サーフェス**

ワークフロー全体を直感的にコントロール — Launch Control XL は、8 つの高精度フェーダー、24 のエンドレス・エンコーダー、16 の割り当て可能なボタンを備え、コンピュータに接続するだけで主要なすべての DAW を簡単に操作できます。カスタムマッピング機能でお使いのプラグインやハードウェアを直感的にコントロールすることも可能。Launch Control XL は、スタジオの中核としてセットアップ全体を掌握する理想的なコントロール・サーフェスです。

- **カスタムマッピングを作成する**

MIDI パラメータをエンコーダーとボタンに割り当て、最大 7 つのカスタム モードを保存し、Novation コンポーネントで管理します。

- **DAW と強力に連携**

Launch Control XL 3 Ableton Live、Logic Pro、FL Studio、Cubase などとの緊密な統合に加え、その他すべてにおいて Mackie HUI がサポートされています。

- **あらゆるハードウェアと接続**

MIDI In、Out、Out2/Thru ポートにお使いのハードウェアシンセやエフェクト機器を接続し、カスタムマッピングをコントロールできます。コンピュータは必要ありません。

- **ハイブリッド・セットアップに最適**

外部機器や DAW のコントロール、プラグインのパラメータを直感的に操作できる 1 つのカスタムレイアウトに組み合わせて配置でき、究極のハイブリッドセットアップを構築できます。

同梱品

- Novation Launch Control XL 3
- 1.5m (4'11") USB type C-to-A Cable

始めるには Launch Control XL 3

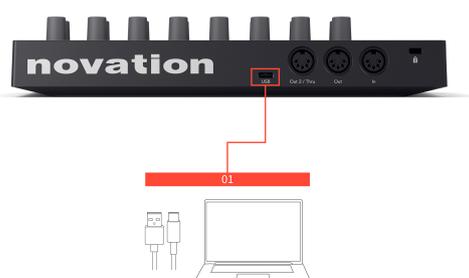
Launch Control XL 3 の接続および電源供給

Launch Control XL 3 は、USB バスパワーで駆動します。付属の USB ケーブルでコンピュータまたは USB 電源アダプターに接続すると、電源がオンになります。

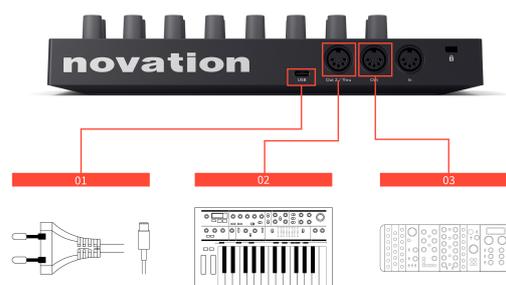
コンピュータに接続すると、USB ポート経由で MIDI データの送受信も行えます。

5 ピン MIDI ポート (In、Out、Out 2/Thru) も備え、MIDI ポートを搭載する外部 MIDI ハードウェアを直接接続できます。詳細は、[Launch Control XL 3 のリアパネル\[20\]](#)をご参照ください。

以下は、Launch Control XL 3 の電源およびコンピュータ / ハードウェアへの接続例です。



Launch Control XL 3 の USB-C ポートとコンピュータの USB-A ポートを接続。



Launch Control XL 3 とハードウェアの接続例。5 ピン MIDI DIN ケーブルでシンセサイザーに接続し、USB 電源アダプターから本体に電源を供給。

Launch Control XL 3 をコンピュータに USB 接続して使用する

1. Launch Control XL 3 とコンピュータを付属の USB-C - USB-A ケーブルで接続します。



注記

Novation 製品で使用できる USB ケーブルの詳細については、次の記事を参照してください。

[Novation 製品ではどの USB ケーブルでも使用できますか？](#)

Launch Control XL 3 の MIDI DIN ポートにハードウェアを接続し、USB 電源アダプターで Launch Control XL 3 に電源を供給する

1. USB 電源アダプター (付属しません) と Launch Control XL 3 を USB ケーブルで接続します。
2. MIDI **Out 2** ポートとシンセサイザーの MIDI **In** を接続します。
3. モジュラーシンセの MIDI-CV 変換モジュール入力と Launch Control XL の MIDI 出力 **Out** ポートを接続します。



ヒント

USB 電源アダプターとは、家庭用コンセントから USB 端子に電力を供給するアダプターを指し、一般的なスマートフォン用充電器などがこれに該当します。

Launch Control XL 3 を駆動するには、以下の電源要件が必要です。

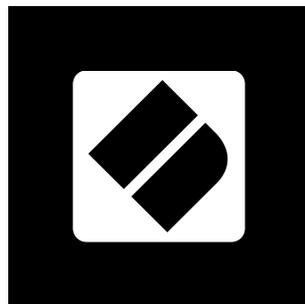
- 2.5 W (ワット) 以上
- 5V、最低 500mA (ミリアンペア)

イージースタート

イージースタートは、Launch Control を手順に沿ってセットアップし、Launch Control の使用用途に応じてパーソナライズされたチュートリアルの一覧を作成できるオンライン・ツールです。また、Launch Control の製品登録やバンドル・ソフトウェアのダウンロードなども行えます。

Windows または Mac に Launch Control を接続すると、本体が USB ドライブのような大容量記憶装置 (MSD) としてマウントされます。ドライブを開き、「Click Here To Get Started.url」をダブルクリックします。「Get Started」をクリックすると、イージースタートがウェブブラウザで開かれます。

画面の指示に従い必要なソフトウェアをインストールし、Launch Control を使用する準備を行います。



イージースタートツールを使用せずに、Novation ウェブサイトで FLkey の製品登録やバンドルソフトウェアのダウンロードを行うことも可能です。

id.focusritegroup.com/register <https://id.focusritegroup.com/en/register>



重要

Launch Control を最初に接続する際は、イージースタートを使用しない場合でも、ファームウェアをアップデートすることを強くお勧めします。

Launch Control のファームウェアをアップデートしないと、多くの機能が動作しない可能性があります。

Launch Control のファームウェアのアップデートには、Novation Components を使用します。 components.novationmusic.com にアクセスし、ファームウェアをアップデートしてください。

トラブルシューティング

Launch Control を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、こちらをご参照ください：

novationmusic.com/get-started

Launch Control に関して不明な点がある場合には、いつでもヘルプセンターをご利用いただけます。
また、以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただくことも可能です：

support.novationmusic.com

のアップデートを確認することをお勧めします。Launch Control 最新の機能と修正が適用されます。
を更新するには Launch Control のファームウェアを使用する必要があります。コンポーネント：

components.novationmusic.com

Launch Control XL 3 ハードウェア概要

ここでは、Launch Control XL 3 の各コントロールの機能について解説します。DAW との連携に関しては [Launch Control XL 3 で DAW をコントロールする \[32\]](#)を、Launch Control XL 3 を DAW を使わずに使用する場合は [Launch Control XL 3 を DAW 以外で使用する \[26\]](#)をご参照ください。

Launch Control XL 3 のトップパネル



1. ディスプレイ - 重要な情報を分かりやすく表示します。
2. **Page ボタン** - Launch Control XL 3 をコントロールするためのページを切り替えます。利用可能なボタンは、LED が点灯します。[10][10]
3. **Track ボタン** - DAW 内のトラックを移動します。[11][11]
両方の Track ボタン◀▶を 0.3 秒押し続けると、**Settings** メニューが開きます。[87][87]
4. **録音 ボタン** - DAW の録音モードのオン / オフを切り替えられます。[11][11]
5. **再生 ▶ ボタン** - DAW の再生ボタンのオン / オフを切り替えられます。[12][12]
6. **Shift ボタン** - Shift 機能およびプレビュー機能 (Shift ボタンを押しながらコントロールを操作) を実行します。[12][12]
7. **Mode ボタン** - Launch Control XL 3 のコントロールモードを選択します。
DAW Mixer、**DAW Control**、**Custom Mode** から選択可能です。[13][13]
Shift ボタンと **Mode ボタン**を同時に押すと、**Custom Mode Edit** メニューにアクセスできます。

8. **Solo/Arm ボタン - DAW モードで同列のボタンの動作を切り替えます。 [19] [19]**
9. **Mute/Select ボタン - DAW モードで同列のボタンの動作を切り替えます。 [19][19]**
10. Novation ボタン - 機能なし
11. エンコーダー - 割り当て可能なエンコーダーによるコントロールを行います。 [17][17]
12. フェーダー - 割り当て可能なフェーダーによるコントロールを行います。 [18][18]
13. ボタン 1 ~ 16 - DAW モードでは **Solo / Arm** または **Mute / Select** ボタン、カスタムモードでは割り当て可能なボタンとして動作します。 [23][23][18] [18]

Page ボタンを使用する



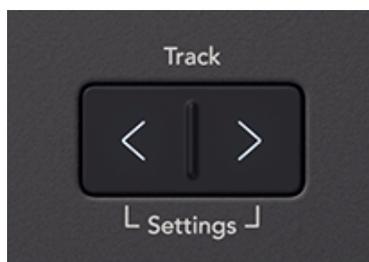
Launch Control XL 3 の左側にある **Page ▲▼** ボタンを使うと、メニュー画面のページを切り替えることができます。

利用可能なボタンは点灯し、ページが切り替え可能であることを示します。たとえば最初もしくは最後のページでは、片方のボタンのみが点灯します。

Page ボタンを押してページを切り替えると、ページ名がディスプレイに表示されます。

Track (Settings) ボタン

Track <> ボタンは、Launch Control XL 3 の左側、Page ボタンの下に配置されています。



利用可能なボタンは点灯し、ページが切り替え可能であることを示します。たとえば最初もしくは最後のページでは、片方のボタンのみが点灯します。

Page ボタンを押してページを切り替えると、ページ名がディスプレイに表示されます。

Settings

左右の Track <> ボタンを同時に 0.3 秒押し続けると、Settings メニューにアクセスできます。



注記

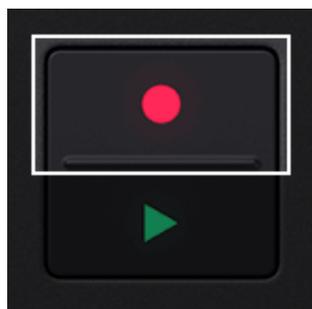
設定メニューはカスタムモードを使用している場合にのみアクセスできます。どちらの DAW モードでも、ボタンを使ってトラックナビゲーションを操作します。

詳細は、[Launch Control XL 3 の Settings \(設定 \) ページ \[87\]](#)をご参照ください。

録音ボタンを使用する

DAW モードでは、DAW の録音状態のオン / オフを切り替えられます。

録音ボタンは、ディスプレイ下にある上から 3 番目のボタンの上段に配置されています。

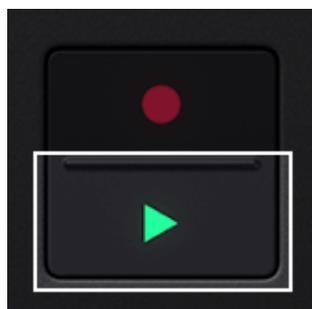


詳細は、[Launch Control XL 3 で DAW をコントロールする \[32\]](#)をご参照ください。

再生▶ボタンを使用する

DAW モードでは、DAW の再生ボタンとして動作します。

再生▶ボタンは、ディスプレイ下にある上から 3 番目のボタンの下段に配置されています。



詳細は、[Launch Control XL 3 で DAW をコントロールする \[32\]](#)をご参照ください。

Launch Control XL 3 の Shift ボタン

Shift ボタンを押すと、様々なボタンの二次的な機能にアクセスできます。Shift ボタンを押しながら二次機能を持つボタンを押すことで、該当する機能にアクセスできます。

Shift ボタンは、本体左側のボタン類のうち、上から 4 番目のボタンの上部に配置されています。



ヒント

Shift ボタンを二度押しすることで、Shift 機能をラッチできます。

Shift ボタンは、各エンコーダーやフェーダーの設定値の確認にも使用できます。Shift ボタンを押しながらフェーダーやエンコーダーを動かすと、値は変更されせずにパラメーター名と値がディスプレイに表示されます。



ヒント

Shift ボタンを長押しすると、Shift 機能が利用できるすべてのボタンが点灯します。

Mode ボタン

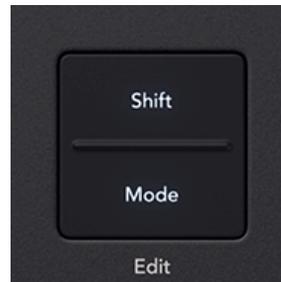
Mode ボタンを使うと、Launch Control XL 3 のモードを選択できます。選択するモードによって各コントロールの動作が決まります。

Launch Control XL 3 では、2 つの DAW モード (**DAW Control** および **DAW Mixer**)、15 のカスタムモード、1 つのデフォルトモード (スロット 16) を利用できます。

- DAW モードでは、お使いの DAW 用のプリセット・マッピングをお使い頂けます ([Launch Control XL 3 で DAW をコントロールする \[32\]](#)参照)。
- カスタムモードでは、各コントロールの動作を編集できます ([カスタムモード 参照](#))。 [23] [23]

モードを選択するには

1. **Mode** ボタンを押すと、モードが選択可能になります。



16 のボタンが点灯し、モードが選択可能であることを示します。現在選択中のモードは白色に、その他は青色に点灯します。



2. 青色のボタンのいずれかを押すとモードが変更され、選択したモード名 **Mode** はトグルボタンとして動作し、ボタンを1度押すことでアクティブな状態が保持されます。Mode ボタンがアクティブの間は複数のモードを何度も切り替えることができ、その他のコントロールも変更したモードに応じて更新されます。これにより各エンコーダーやフェーダーの機能を素早く切り替えることができます。
3. **Mode** ボタンを再び押すとモード選択が終了し、元の状態に復帰します。



モードボタンを一時的に使用する

あなたは **モード** ボタンを押すと一時的にモード選択画面が表示されます。押し続けている間はモードの変更やコントロールの調整ができます。ボタンを離すと **モード** ボタンを押すと、モードは最後に押したボタンに変わります。

カスタムモード設定を変更する

Mode ボタンの二次機能 (Edit) にて、カスタムモードの編集メニューにアクセスできます。Launch Control XL 3 の各カスタムメニューには、それぞれ専用の編集メニューがあり、MIDI ポートの連携方法を設定できます。

カスタムモード設定メニューに入るには、Shift ボタンを押しながら Mode (Edit) ボタンを押します。

Mode ボタンを再度押すと、カスタムモード設定メニューを終了できます。

- Page ▲▼ ボタンを押すと、設定項目が切り替わります。
- Track ⇄ ボタンを押すと、設定値を変更できます。

以下の項目をカスタムモード毎に設定できます。

項目	値の範囲	説明	デフォルト値
マージ	On Off	の上 入力された MIDI データをサーフェスで生成された MIDI とマージすることができます(コントローラを Launch Control XL 3)として保存され、そのカスタムモードの MIDI 出力に送信されます。	の上
マージフィルター	Off 第 1 章 - 第 16 章	そのカスタムモードのサーフェス生成 MIDI とマージする MIDI 入力チャンネルを設定します。 オフ すべての受信 MIDI 入力チャンネルをそのカスタムモードのサーフェス生成イベントとマージできるようにになります。	オフ
マージアウト Ch	入力として 第 1 章 - 第 16 章	カスタムモードの MIDI データと着信 MIDI データが送信される MIDI チャンネルを設定します。 入力として 受信した MIDI データのチャンネルは変更されません。	入力として
Output Port	USB DIN 1 DIN 2 All	カスタムモードが MIDI データを送信するポートを設定します。 All は、MIDI データを USB と DIN ポートの両方に送信します。 マージがオンの場合、MIDI データは でポートは選択した送信ポートにも送信されます。	All



重要

MIDI スルー設定は、[設定メニュー \[87\]](#)は、カスタム モードの設定よりも優先されます。

設定メニューで MIDI スルーを有効にすると、MIDI で ポートは MIDI に送信されます
アウト 2/スルー カスタムモードの設定に関係なく。

アクティブなカスタム モードが DIN 2 またはすべての出力に設定され、MIDI スルーが有効になっている場合、カスタム モードからのデータはマージされず、出力 DIN 2 から送信されません。

Launch Control XL 3 のエンコーダーを使用する

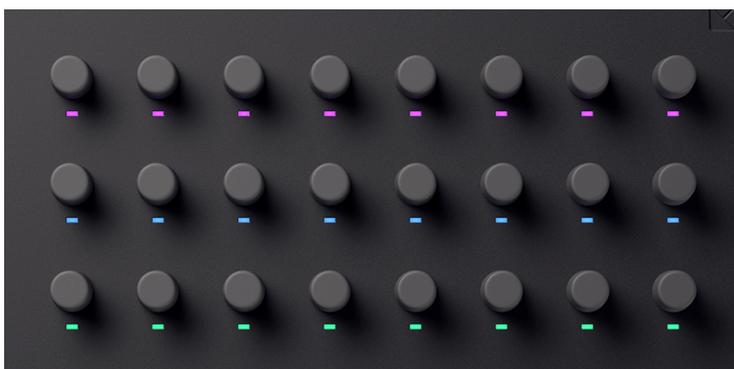
Launch Control XL 3 は、8 個ずつの列で合計 24 のエンドレス・エンコーダーを備えます。各エンコーダーは LED を備え、モードに応じて点灯します。

エンコーダーを回すと、該当するパラメータ名と値がディスプレイに表示されます。**Shift** を押しなが
らエンコーダーを回すと、値を変えることなくパラメータ名をディスプレイで確認できます。

エンコーダーは複数のモードを切り替えて使用でき、様々なパラメータを同時にコントロールできま
す。お使いの DAW に対応したモードや、操作したいパラメータを好みにカスタマイズ可能なカスタム
モードも使用できます。

DAW モードでは、エンコーダーの配置が 2 つのエリアに分類されます。[32][32]

- 1 列目と 2 列目のエンコーダーは、DAW の 1 種類のパラメータ (プラグインやセンドなど) をコ
ントロールします。
- 3 列目のエンコーダーは、その他のパラメータ (トランスポートやパンなど) をコントロールし
ます。



エンコーダーモードの詳細は、以下をご参照ください。

- [Launch Control XL 3 で DAW をコントロールする \[32\]](#)
- [Launch Control XL 3 でカスタムモードを使用する \[23\]](#)



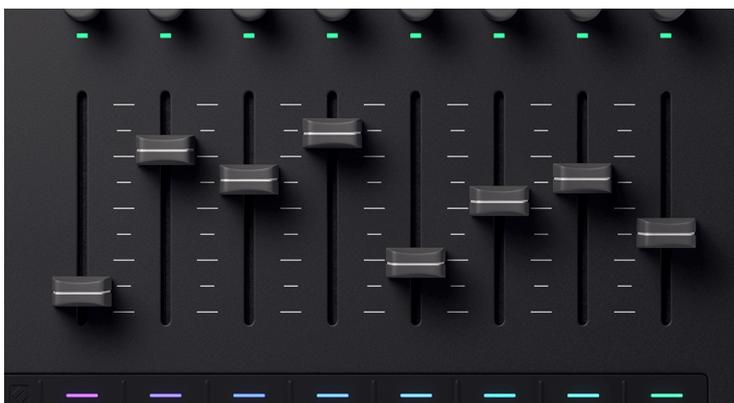
ヒント

エンドレス・エンコーダーは、連続的に回転するロータリー・ノブです。そのため、モ
ードやトラックを切り替えたときにパラメータ値がジャンプする心配はありません。
パラメータは、DAW や接続デバイスと常に同期されます。

Launch Control XL 3 のフェーダーを使用する

Launch Control XL 3 は 8 つのフェーダーを備え、DAW のミキサーレベルをコントロールしたり、カスタム MIDI メッセージをハードウェアやプラグインなどに送信することができます。

エンコーダーを回すと、該当するパラメータ名と値がディスプレイに表示されます。**Shift** を押しなが
らエンコーダーを回すと、値を変えることなくパラメータ名をディスプレイで確認できます。



Launch Control XL 3 のフェーダー。

フェーダーモードの詳細は、以下をご参照ください。

- [Launch Control XL 3 で DAW をコントロールする \[32\]](#)
- [Launch Control XL 3 でカスタムモードを使用する \[23\]](#)

フェーダーのピックアップ機能

モードを切り替えた際、多くの場合新しいフェーダー値が直前のモードのフェーダー値と一致しないため、フェーダーを動かすことで値がジャンプしてしまう可能性があります。[Settings](#) メニューで [フェーダーピックアップ機能を有効にすることで、この現象を回避することができます。\[87\]\[87\]](#)

- 「Pickup」を有効にすると、モード切り替え後にフェーダーを動かしても、フェーダー値が現在の値に達するまでパラメータは変更されません。
- 「Jump」を有効にすると、フェーダーの値がすぐに変更されます。このため、新しい値がフェーダー値まで「ジャンプ」してしまいます。

Launch Control XL 3 のボタンを使用する

Launch Control XL 3 の下部には、合計 19 個のボタンが 2 列で配置されています。



DAW モードの場合、フェーダー下部のボタンは **Solo/Arm** (上段) および **Mute/Select** (下段) ボタンとして機能します。一番左のボタンで設定項目が切り替わります (詳細は後述)。

- [Solo モード \[19\]](#)
- [Arm モード \[19\]](#)
- [Mute モード \[19\]](#)
- [Select モード \[19\]](#)

DAW を使用しない場合は、各ボタンに MIDI ノートや CC、プログラムチェンジ、NRPN、キーストロークなどのカスタムメッセージを割り当てて使用することができます。

詳細は、[Launch Control XL 3 でカスタムモードを使用する \[23\]](#)をご参照ください。

Launch Control XL 3 の Solo/Arm ボタンを使用する

Solo/Arm ボタン (上段の一番左のボタン) を押すと、上段のボタンがトラックのソロと録音アームを行うボタンに交互に切り替わります。

Solo モード

Solo モードでは、ボタンを押すと該当する DAW のトラックがソロ状態に切り替わります。

Arm モード

Arm モードでは、ボタンを押すと該当する DAW のトラックが録音アーム状態に切り替わります。

Launch Control XL 3 の Mute/Select ボタンを使用する

Mute/Select ボタン (下段の一番左のボタン) を押すと、下段のボタンがトラックのミュートと選択を行うボタンに交互に切り替わります。

Mute モード

Mute モードでは、ボタンを押すと該当する DAW のトラックがミュート状態に切り替わります。

Select モード

Select モードでは、ボタンを押すと該当する DAW のトラックが選択されます。

各ボタンは DAW のトラックの色に点灯します。トラックを選択すると、ボタンが白に点灯します。

Launch Control XL 3 のリアパネル



1. **USB** - Launch Control XL 3 を付属の USB ケーブルでコンピュータに接続するための **USB Type-C** ポート。【21】[21]
2. **MIDI Out2/Thru** ポート - 5 ピン MIDI DIN コネクタ。MIDI Out と独立して MIDI メッセージを送信、もしくは MIDI In の入力 MIDI 信号をスルー出力します。【20】[20]
3. **MIDI Out** - 外部 MIDI ハードウェアに接続するための 5 ピン MIDI DIN コネクタ。【20】[20]
4. **MIDI In** - 外部 MIDI ハードウェア(MIDI キーボードなど)から Launch Control XL 3 への MIDI データを受け取るための 5 ピン MIDI DIN コネクタ。【20】[20]
5.  - ケンジントンロック。Launch Control を固定し、盗難から守ります。

Launch Control XL 3 の MIDI ポートを使用する

MIDI ポートを使用すると、Launch Control XL 3 をハードウェアまたはハイブリッドなセットアップに組み込むことができます。たとえば、シンセサイザーやドラムマシン、グローブボックスなどのフィジカル・コントローラーとして使用できます。



MIDI In

5 ピン MIDI DIN ポート **In** を使うと、MIDI 対応機器から Launch Control XL 3 に MIDI データを送信できます。

Launch Control XL 3 の MIDI 入力に MIDI キーボードを接続し、複数のハードウェアをコントロール、Launch Control XL 3 の MIDI ラーン機能を使用、

詳細は、 [Launch Control XL 3 を DAW 以外で使用する \[26\]](#)

MIDI 出力

MIDI Out ポートを使うと、MIDI 入力を備えるハードウェアに対して Launch Control のエンコーダーやフェーダー、ボタンから MIDI メッセージを送信できます。

MIDI 出力ポートを使うことで、シンセサイザーやドラムマシン、グルーヴボックスなどのハードウェアにコントロールを追加できます。またハードウェア本体のメニューを操作せずにパラメータを直接変更できます。

詳細は、 [Launch Control XL 3 を DAW 以外で使用する \[26\]](#)

MIDI Out 2/Thru

The MIDI Out 2/Thru ポートは、2 つ目の MIDI 出力、または MIDI thru ポートとして機能します。この動作は [Settings メニュー](#) で設定できます。 [\[87\]\[87\]](#)

- MIDI Out 2 モードでは、このポートは MIDI Out と同様の動作をします。MIDI 入力を備えるハードウェアに MIDI メッセージを送信できます。

以下の場面で有効です。

- MIDI Out とは異なる MIDI メッセージを外部ハードウェアに送信したい場合。たとえばカスタムモードを用いることで、2 台のデバイスを個別にコントロールできます。
- MIDI Thru モード - Launch Control XL 3 の MIDI In DIN ポートに入力された MIDI メッセージをそのままスルー出力します。

以下の場面で有効です。

- Launch Control XL 3 が別のハードウェアと直列に MIDI 接続されており、Launch Control XL 3 自身または前段に接続された機器 (MIDI キーボードなど) から受け取った MIDI メッセージを後段の接続機器にそのまま送信したい場合。

詳細は、 [Launch Control XL 3 を DAW 以外で使用する \[26\]](#)をご参照ください。

USB ポート

Launch Control XL 3 は、コンピュータまたは USB MIDI ホストに接続するための **USB 2.0 Type-C** ポートを備えます。

USB ポートは、主に以下の用途で使用されます。

- コンピュータ接続時、またはスタンドアロン・モード時に Launch Control XL 3 に電源を供給。
- MIDI データを DAW や MIDI アプリケーション、または USB MIDI ホストとの間で送受信します。

- Components 経由でファームウェア・アップデートのインストール、カスタムモードの管理。

USB から DIN MIDI

あなたの Launch Control XL 3 MIDI インターフェイスとして機能し、2 つの DIN MIDI 出力を介してコンピュータ (シーケンサーや DAW など) から外部ハードウェアに MIDI データを送信できます。

コンピュータ上の USB MIDI デバイスは各 MIDI DIN ポートを個別に表示するため、各ポートに MIDI メッセージを送信できます。



重要

Out 2/Thru ポートは Thru 設定に従います。設定メニューで MIDI Thru がオンになっている場合、DIN Out 2 に送信されたデータは出力されません。

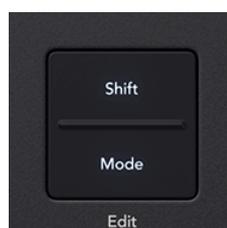
カスタムモードの設定は MIDI データには影響しません。カスタムモードを DIN ポートに出力するように設定し、同じポートに USB データを送信すると、Launch Control XL 3 データを結合します。

Launch Control XL 3 でカスタムモードを使用する

カスタムモードは、用途に合わせて Launch Control XL 3 のコントロールをパーソナライズできる機能です。様々な MIDI データ (ノート、CC、キーストローク、プログラムチェンジ) を送信し、ソフトウェアやハードウェア、その他の MIDI 機器をコントロールできます。

カスタムモードにアクセスするには

1. **Mode** ボタンを押すと、モードが選択可能になります。



16 のボタンが点灯し、モードが選択可能であることを示します。現在選択中のモードは白色に、その他は青色に点灯します。



2. 青色のボタンのいずれかを押しとモードが変更され、選択したモード名
3. を押します **モード** もう一度ボタンを押します。



注記

モード 16 は デフォルトのモード として固定されているため、編集することはできません。[91][91]

カスタムモード設定を変更する

Mode ボタンの二次機能 (Edit) にて、カスタムモードの編集メニューにアクセスできます。Launch Control XL 3 の各カスタムメニューには、それぞれ専用の編集メニューがあり、MIDI ポートの連携方法を設定できます。

カスタムモード設定メニューに入るには、Shift ボタンを押しながら Mode (Edit) ボタンを押します。

Mode ボタンを再度押すと、カスタムモード設定メニューを終了できます。

- Page ▲▼ ボタンを押すと、設定項目が切り替わります。
- Track ⇄ ボタンを押すと、設定値を変更できます。

以下の項目をカスタムモード毎に設定できます。

項目	値の範囲	説明	デフォルト値
マージ	On Off	の上 入力された MIDI データをサーフェスで生成された MIDI とマージすることができます (コントローラを Launch Control XL 3) として保存され、そのカスタム モードの MIDI 出力に送信されます。	の上
マージフィルター	Off 第 1 章 - 第 16 章	そのカスタム モードのサーフェス生成 MIDI とマージする MIDI 入力チャンネルを設定します。 オフ すべての受信 MIDI 入力チャンネルをそのカスタム モードのサーフェス生成イベントとマージできるようにします。	オフ
マージアウト Ch	入力として 第 1 章 - 第 16 章	カスタム モードの MIDI データと着信 MIDI データが送信される MIDI チャンネルを設定します。 入力として 受信した MIDI データのチャンネルは変更されません。	入力として
Output Port	USB DIN 1 DIN 2 All	カスタムモードが MIDI データを送信するポートを設定します。 All は、MIDI データを USB と DIN ポートの両方に送信します。 マージがオンの場合、MIDI データは で ポートは選択した送信ポートにも送信されます。	All



重要

MIDI スルー設定は、[設定メニュー \[87\]](#)は、カスタム モードの設定よりも優先されます。

設定メニューで MIDI スルーを有効にすると、MIDI でポートは MIDI に送信されます
アウト 2/スルー カスタムモードの設定に関係なく。

アクティブなカスタム モードが DIN 2 またはすべての出力に設定され、MIDI スルーが有効になっている場合、カスタム モードからのデータはマージされず、出力 DIN 2 から送信されません。

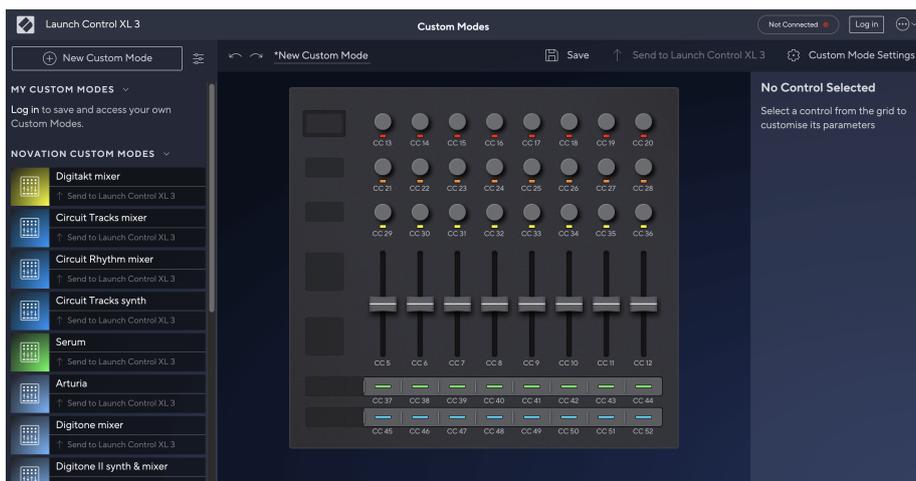
Novation Components で Launch Control XL 3 のカスタムモードを作成する

Novation Components (ウェブ版およびスタンドアローン版) では、Launch Control XL 3 のカスタムモードの作成 / 編集 / 保存 / 読み込みが行えます。

Components を使用 / ダウンロードするには、以下にアクセスします。

components.novationmusic.com [https://components.novationmusic.com/](https://components.novationmusic.com)

Launch Control XL 3 をコンピュータに接続していなくてもカスタムモードの作成は可能であり、後でコンピュータに送信することもできます。



Launch Control XL 3 を DAW 以外で使用する

Launch Control XL 3 は DAW と連携するだけでなく、USB ポートおよび MIDI Out ポートから MIDI データを送信することで、DAW 以外の MIDI 対応ソフトウェアや外部ハードウェアと連携できます。Launch Control を音楽系以外の用途にも活用できます。

Launch Control XL 3 から MIDI データを送信するには、カスタムモードを使用する必要があります。

カスタムモードでは、MIDI CC やノート、プログラム・チェンジ、NRPN



注記

各コントロール毎に異なる種類の MIDI メッセージを割り当てることができます。

本体の

- エンコーダー
- フェーダー
- ボタン



注記

本章では、利用可能な接続 / セットアップ方法の一例を紹介しています。シンセサイザー、ドラムマシン、照明用ソフトウェア、音響編集ソフトウェアなど、実際にお使いになる機器やソフトウェアの動作は製品によって異なります。本章の内容を踏まえた上で、お使いの機器の各ユーザーガイドを併せてご参照ください。



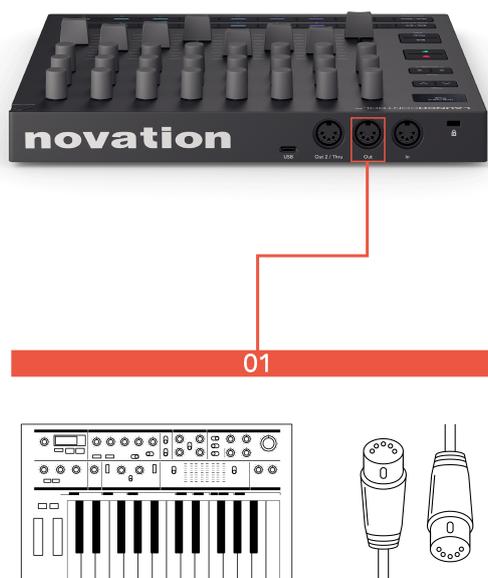
重要

以下の例は、Launch Control XL 3 DAW 以外での使用例もありますが、電源に接続する必要があります。Launch Control XL 3 コンピューターから、または USB 電源から。

Launch Control XL 3 で外部機器をコントロールする

外部機器をコントロールする際の最もシンプルなセットアップは、Launch Control XL 3 と 1 台の外部機器を 1 本の MIDI ケーブルで接続する接続方法です。

操作したいハードウェアにノブやフェーダーなどのコントロールが搭載されていない場合や、より多くのコントロールを追加したい場合



1. 図の例では、本体の Launch Control XL 3 MIDI Out がシンセサイザーの MIDI In に接続されています。

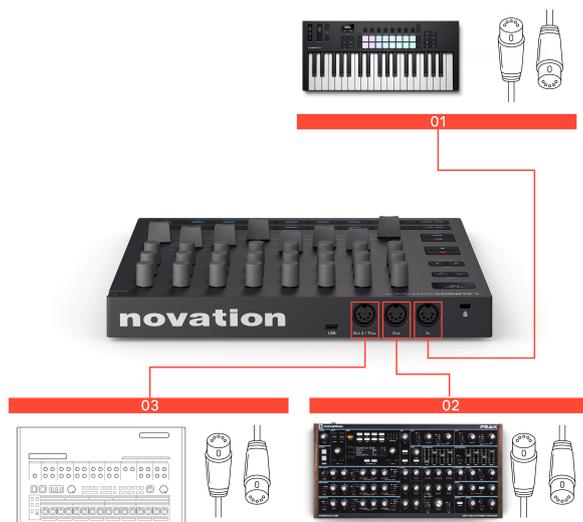
Launch Control XL 3 から出力された MIDI データが 1 本の MIDI ケーブルでシンセなどの外部機器に送信されます。

このセットアップでは、以下の点に留意してください。

- Launch Control XL 3 の各コントロールは、設定された MIDI チャンネルに対して MIDI メッセージを送信します。各コントロールに異なる MIDI チャンネルを設定することも可能です。
- Launch Control XL 3 の各コントロールに対して適切なメッセージタイプと値の範囲を設定する必要があります。送信すべき MIDI メッセージの詳細は、接続先の MIDI 機器のユーザーガイドに記載されている MIDI インプリメンテーション・チャートをご参照ください。

Launch Control XL 3 で複数の機器をコントロールする

図のセットアップ例では、Launch Control XL 3 が 2 台の機器をコントロールします。Launch Control の各コントロールは、カスタムモード 1 でシンセサイザーを、カスタムモード 2 でドラムマシンを操作できるように設定されています。さらに MIDI In ポートに MIDI キーボードが接続されており、Launch Control XL 3 の MIDI マージ機能 ([Settings](#) 参照) を用いて MIDI キーボードでの演奏データをシンセサイザーに直接送信しています。[87][87]



1. MIDI In ポートには MIDI キーボードからの MIDI 信号が入力されます。
Launch Control に入力された MIDI メッセージは、カスタムモード 1 では MIDI Out (DIN 1) から、カスタムモード 2 では MIDI Out 2 からスルー出力されます。MIDI ルーティングの設定は、各カスタムモードの [Custom Mode Edit](#) メニューにある [Ext. MIDI In](#) および [Output Port](#) 設定で行います。これにより、MIDI キーボードでシンセを演奏しながら Launch Control XL 3 でシンセのその他のコントロールを同時に行うことができます。



ヒント

MIDI キーボードを任意の MIDI チャンネルに設定し、Launch Control XL 3 のカスタムモード設定で異なる MIDI チャンネルに変換することも可能です。カスタムモードを切り替えることで、受信された MIDI データはそのカスタムモードに応じた MIDI チャンネルに自動的に切り替わります。

2. MIDI Out ポートからは、シンセサイザーに MIDI メッセージが送信されます。
シンセサイザーを MIDI チャンネル 1 (例) に設定し、エンコーダーとフェーダーでシンセサイザーをコントロールできるようにカスタムモードを設定します。エンコーダーを周波数や LFO に、フェーダーを ADSR エンベロープなどに割り当てると良いでしょう。

また本体下部のボタンをオシレーター波形の切り替えや、エフェクトのバイパスなどに割り当てることも可能です。

3. MIDI Out 2/Thru ポートからは、ドラムマシンに MIDI メッセージが送信されます。

2 台目のシンセサイザーを接続することももちろん可能ですが、ここではドラムマシンを用いたセットアップを紹介します。まず **カスタムモード 2 の Output Port を DIN 2 (Custom Mode Edit メニュー参照)** に設定し、各コントロールをドラムマシンに合わせて調整します。各エンコーダーをピッチ、ディケイなどに、フェーダーを各ドラムチャンネルのレベルなどに設定すると良いでしょう。

Launch Control XL 3 のボタンをノートに設定し、各ドラム音のトリガーやミュートに設定することも可能です。



注記

Launch Control XL 3 がコントロールする対象機器を変更するには、別のカスタムモードに切り替えます。各カスタムモードは、MIDI 信号を受信する機器の MIDI チャンネルに合わせて設定してください。

Launch Control XL 3 をハイブリッドなセットアップで使用する

コンピュータとハードウェアを組み合わせたセットアップの場合、Launch Control XL 3 はコントローラーであると同時に MIDI ルーターとして機能します。

MIDI キーボードを Launch Control XL 3 の MIDI In ポートに接続した状態でカスタムモードを切り替えることで、MIDI キーボードからの入力 MIDI データが Launch Control XL 3 のコントロール情報とマージされ、選択中のカスタムモードに対応するハードウェア機器に送信することができます。

また Ableton Live などのソフトウェアに MIDI キーボードと Launch Control XL 3 を接続することで、ソフトウェアや DAW セッションのサウンドをハードウェアと同時に鳴らすことができます。



1. MIDI キーボードが Launch Control XL 3 の MIDI In ポートに接続されています。
MIDI キーボードを Launch Control XL 3 経由でシンセに接続することで、MIDI キーボードで演奏した MIDI 信号を Launch Control XL 3 のいずれかの MIDI Out ポートにルーティングできます。たとえば図の例の場合、カスタムモード 1 を DIN Out に設定することで、MIDI キーボードと Launch Control XL 3 での操作の両方で Peak をコントロールできます。さらにカスタムモード 2 を DIN Out 2 に設定すると、カスタムモード 2 を選択した時点で MIDI キーボードと Launch Control XL 3 の両方が DIN Out 2 に接続されたドラムマシンをコントロールできるようになります。
2. シンセサイザー(図の例では Peak)が Launch Control XL 3 の MIDI Out ポートに接続されています (MIDI 入力ポートを備えるすべての MIDI 機器を使用できます)。
3. ドラムマシンが Launch Control XL 3 の MIDI Out 2 ポートに接続されています (MIDI 入力ポートを備えるすべての MIDI 機器を使用できます)。
4. このセットアップ例では、MIDI キーボードと Launch Control XL 3 が USB 経由でコンピュータにも接続されています (ハイブリッド・セットアップ)。

これにより、DAW をワークフローに取り入れ、ソフトウェア音源や録音済みのミックス素材などをハードウェア楽器と組み合わせて使用することが可能になります。MIDI キーボードを使って DAW セッションを演奏 / 操作したり、Launch Control XL 3 の DAW モードを駆使して、DAW セッションを直感的にコントロールすることができます。



ヒント

Launch Control XL 3 の 3 つの MIDI ポートと USB 接続を活用することで、ハードウェア、ソフトウェアまたはハイブリッドの様々なセットアップを構築できます。

Launch Control XL 3 を音楽以外の用途に使用する

Launch Control XL 3 は音楽制作向けに作られていますが、MIDI を介して様々な非音楽系ソフトウェアをコントロールすることもできます。カスタムモードでルーティングを自由に設定し、ノブやフェーダー、ボタンにお使いの MIDI 対応ソフトウェアやハードウェアのパラメータを割り当てることができます。以下はその一例です。

- Resolume などの映像用ソフトウェア。
- 照明用ソフトウェアまたは MIDI 入力対応 DMX ミキサー。
- その他のクリエイティブ系ソフトウェア (Adobe Lightroom や Premiere Pro など)

Launch Control XL 3 で DAW をコントロールする

Launch Control は、様々な DAW (デジタル・ オーディオ・ ワークステーション) に対応しており、エンコーダーやフェーダー、ボタンを使って DAW の主要な機能をコントロールできます。

エンコーダーには、「DAW コントロール」モードと「DAW ミキサー」モードの 2 つのモードがあり、左下にある 2 つのボタンを Shift ボタンと同時に押すことでモードを切り替えることができます。



Launch Control XL 3 を DAW に接続すると、エンコーダーは DAW Mixer モードに切り替わります。

Launch Control XL 3 で Ableton Live

本章では、Launch Control XL 3 と Ableton Live の連携について解説します。

<https://www.youtube.com/embed/0j4hQxlQCG0?si=sKKtg9NF8vsVxDfa>

Launch Control XL 3 を Ableton Live に接続する

Ableton Live に接続すると、Launch Control XL 3 はコントロールサーフェスとして自動的にセットアップされます。



重要

Ableton は、Launch Control XL 3 Live 12 以降で動作します。Ableton Live の古いバージョンでは動作しません。

Launch Control XL 3 が自動で検出されない場合は、環境設定の **Link, Tempo & MIDI タブ** でセットアップを行ってください。

1. メニューから以下を選択します。
 - Windows : オプション > 環境設定 > **Link, Tempo & MIDI**
 - macOS : Live > 環境設定 > **Link, Tempo & MIDI**
2. Control Surface で Launch Control XL 3 を選択します。
3. 入力および出カドロップダウン・メニューで LCXL3 In および LCXL3 Out を選択します。
macOS では **DAW Out** および **DAW In**、Windows では **Port 2 (MIDI IN2)** を選択してください。
4. Settings ウィンドウを閉じます。

下のスクリーンショットは、正しい設定がなされた環境設定画面の様子です。



Windows



macOS

Track ボタンを用いた Ableton Live のナビゲーション

Track ボタンを押すと、Ableton Live の選択トラックを前後に変更できます。

Shift ボタンを長押しすると Track ボタンが点灯し、トラックの移動が行えることを示します。たとえばトラック 1 を選択中の場合、前のトラックには移動できないため Track ボタンは点灯しません。

Shift ボタンを押しながら Track ボタンを押すことで、8 トラック単位でトラックを移動することができます。このナビゲート方法を使うことで、リターン・トラックにも素早くアクセス可能です。

Ableton Live でプレビュー機能を使用する

Shift ボタンは、各エンコーダーやフェーダーの設定値の確認にも使用できます。Shift ボタンを押しながらフェーダーやエンコーダーを動かすと、値は変更されせずにパラメーター名と値がディスプレイに表示されます。



ヒント

Launch Control XL 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

Ableton Live でエンコーダーを使用する

Launch Control XL 3 では、2 種類の DAW エンコーダーモードを選択できます。

モードを切り替えるには、Mode を押して、左下にある DAW Mixer (Mute/Select) または DAW Control (Solo/Arm) を押します。もう一度 Mode を押すと、モード選択を終了します。

エンコーダーモードを切り替えると、エンコーダーがマッピングされたパラメータが切り替わります。このときフェーダーとボタンの割り当ては変更されず、常に同じコントロールが行えます。

Ableton Live での DAW Mixer モード

DAW Mixer モードでは、各列のエンコーダーで異なるミキサー設定をコントロールできます。

1. 現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベル。
2. 現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベル。
3. 現在のトラックバンク (8トラック) のパンニング値。



ヒント

モードを切り替えるには、Mode を押して、左下にある DAW Mixer (Mute/Select) または DAW Control (Solo/Arm) を押します。もう一度 Mode を押すと、モード選択を終了します。

DAW Mixer モードで Ableton Live のセンドをコントロール

DAW Mixer モードでは、上の 2 列のエンコーダーで現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベルを設定します。



エンコーダーの LED が Ableton Live のセンドノブの色に合わせて青色に点灯します。

DAW で 2 つ以上のセンドを設定している場合は、 **Page** ボタンを押すことで目的のセンドを切り替えることができます。

センドを変更すると、該当するセンド名がディスプレイに表示されます。

DAW Mixer モードで Ableton Live のパンをコントロール

DAW Mixer モードでは、3 列目のエンコーダーで現在のトラックバンクのパンを設定します。

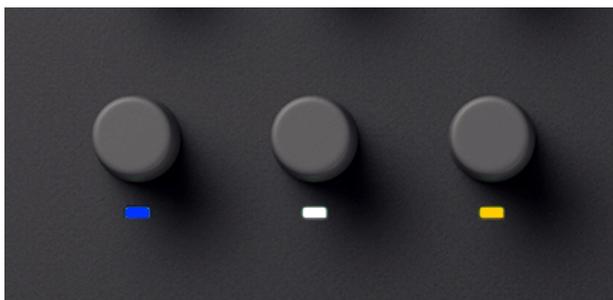


パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション (L=左、C=センター、R=右) がディスプレイに表示されます。

1 - 909 Core kit
Pan
50L - C - 50R

エンコーダーの LED は、パンのポジションに応じて点灯する色が変わります。

1. 青色に点灯 = 左。
2. 白色に薄く点灯 = センター。
3. オレンジ色に点灯 = 右。



Ableton Live DAW Control エンコーダーモード

DAW Control モードでは、各列のエンコーダーで Ableton Live の以下のパラメータをコントロールできます。

1. デバイス・コントロール - 現在選択中のデバイスをコントロールします。
2. デバイス・コントロール - 現在選択中のデバイスをコントロールします。
3. トランスポート・コントロール



ヒント

モードを変更するには、**Mode ボタン**を押しながらトップパネル左下の **DAW Control (Solo/Arm)** または **DAW Mixer (Mute/Select)** ボタンを押します。**Mode ボタン**を再度押すと、モード選択を終了します。



ABLETON LIVE のデバイスとは？

Ableton Live の各トラックには、複数のデバイスを挿入することができます。デバイスには、MIDI エフェクト、オーディオエフェクト、インストゥルメントの 3 つの種類があります。

詳細は、こちらの [Ableton Live ユーザーガイド](#) をご参照ください。

Ableton Live デバイスのエンコーダーによるコントロール



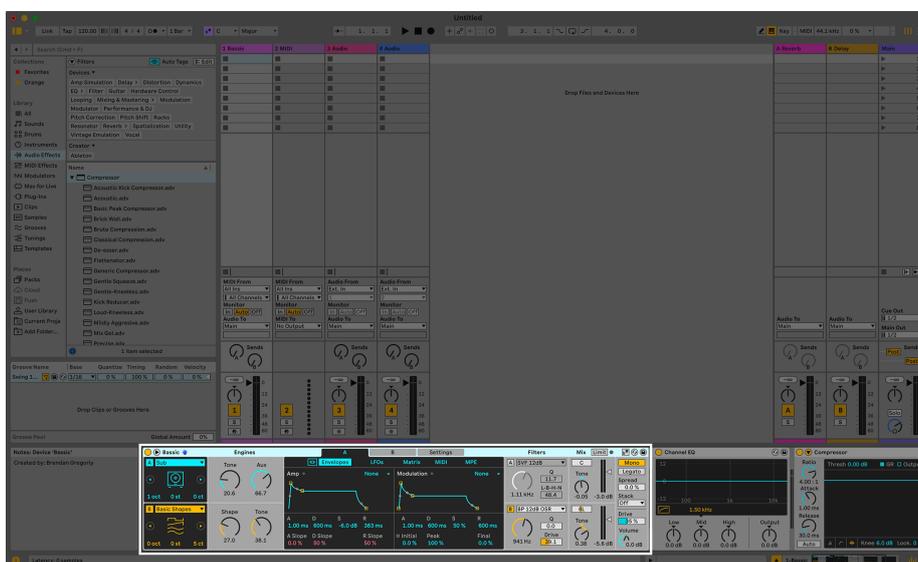
ヒント

Ableton Live の各トラックには、複数のデバイスを挿入することができます。デバイスには、MIDI エフェクト、オーディオエフェクト、インストゥルメントの 3 つの種類があります。

- MIDI エフェクトは、MIDI トラックで扱われる MIDI 信号に効果を与えます。
- オーディオエフェクトは、オーディオ信号に効果を与えます。
- インストゥルメントは MIDI トラックに配置され、受け取った MIDI 信号から音声信号を生成し、出力します。

詳細は、こちらの [Ableton Live ユーザーガイド](#) をご参照ください。

Launch Control XL 3 が DAW Control モードのとき、上 2 列のエンコーダーは選択中のデバイス内の 16 個のコントロールにマッピングされます。



上の例では、Launch Control XL 3 がハイライトされたデバイスをコントロールしています。

デバイスに 16 以上のパラメータがある場合は、**Page** ボタンを押すことで、コントロールするパラメータを切り替え可能です。

デバイス間の移動

トラックに複数のデバイスが配置されている場合は、**Shift** ボタンを押しながら **Page** ボタンを押すことで、選択デバイスを前後に切り替えることができます。



ヒント

選択中のデバイスウインドウ上部 (トップバー) には、青色の小さな手のアイコン 

Ableton Live のトランスポートをエンコーダーでコントロール

DAW Control モードでは、上から 3 列目のエンコーダーで DAW のトランスポートをコントロールできます。

トランスポート・エンコーダー・モードを使うと、DAW のアレンジメント・ビューをエンコーダーで操作できます。これにより作業中のプロジェクトを自由にナビゲート可能になります。

エンコーダーの LED は、操作の可否や関連する機能に応じて点灯します。



エンコーダー	機能	省略名	エンコーダー LED の点灯色
1	アレンジメント・ビューの再生位置	PlaybackPosition	白
2	横方向のズーム (再生位置を中心に) トラック (セッションビュー)	Zoom Horizontal	白
3	縦方向のズーム (トラックの高さ) シーン (セッションビュー)	Zoom Vertical	ターコイズブルー
4	ループの開始点	Cycle Start	黄色
5	ループの終了点	Cycle End	黄色
6	ループが有効	Cycle Active	黄色
7	マーカー選択	Marker Select	白
8	テンポ	BPM	オレンジ

プレイバック・ポジション

トランスポート・エンコーダーモードでは、エンコーダー 1 で再生位置をコントロールできます (スクラブ機能)。エンコーダーを回すと、アレンジウインドウ上の再生ヘッドが拍単位で左右に移動します。

このときディスプレイには現在の再生ヘッドの位置が、小節と拍として表示されます。

Ableton Live ズームコントロール

Ableton Live では、2つのエンコーダーで縦方向のズームと横方向のズームをコントロールできます。

横方向のズーム

アレンジメント・ビューでトラックの高さをキープしたまま、再生位置を中心に横方向にズームイン/アウトを行います。

セッションビューでは、このエンコーダーでトラック間の移動が行えます。

縦方向のズーム

アレンジメント・ビューでは、このエンコーダーでトラックの高さを変更します。

セッションビューでは、このエンコーダーで選択中のクリップを上下に切り替えることができます。

ループの開始点および終了点

トランスポート・エンコーダーモードでは、エンコーダー 3 とエンコーダー 4 で DAW 内のループの開始点と終了点を設定できます。

ループポイントを変更すると、変更中のループポイントが小節と拍単位でディスプレイに一時的に表示されます。

Cycle Active

エンコーダー 6 は、トランスポートのループのオン / オフを切り替えます。

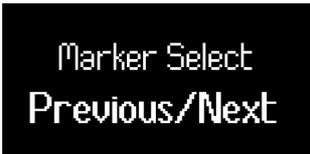
マーカー選択

エンコーダー 7 は、DAW の再生ヘッドで設定済みのマーカー間を移動します。

エンコーダーを時計方向または反時計方向に回すと、再生ヘッドが前または後のマーカーに移動します。

マーカーを移動すると、移動したマーカー名がディスプレイに一時的に表示されます。

アレンジメントにマーカーを挿入していない場合は、エンコーダーを回しても再生ヘッドは移動しません。この場合ディスプレイに「No Markers」と表示されます。



Marker Select
Previous/Next

マーカーの追加方法は DAW によって異なります。お使いの DAW でマーカーを追加する方法は、各 DAW のユーザーガイドをご参照ください。

Tempo

エンコーダー 8 は、DAW のテンポを変更します。

Launch Control XL 3 フェーダーで Ableton Live をコントロールする

DAW モードでは、Launchkey のフェーダーの機能性は 1 つのみであり、現在のトラックバンクのボリュームレベルの変更に使用できます。

いずれの DAW モードでも、Launch Control XL 3 のフェーダーは現在のトラックバンクのトラックボリュームをコントロールします。



フェーダーを操作すると、変更中のトラック名とレベル値 (dB 単位) がディスプレイに一時的に表示されます。

A black rectangular display showing the text 'Electric Piano' in a white serif font, 'Volume' in a white sans-serif font, and '-2.3 dB' in a white sans-serif font.

Ableton Live でボタンを使用する

ボタンは、1 列目と 2 列目でそれぞれ 2 つの異なるパラメータを持ち、個別に切り替えて使用することができます。

- ボタンの上の列は、**Solo**または**Arm**をコントロールします。
- ボタンの下の列は、**Mute**または**Select**をコントロールします。

各列一番左のボタンを押すことで、各ボタン列の機能を切り替えることができます。



Solo および Arm ボタン

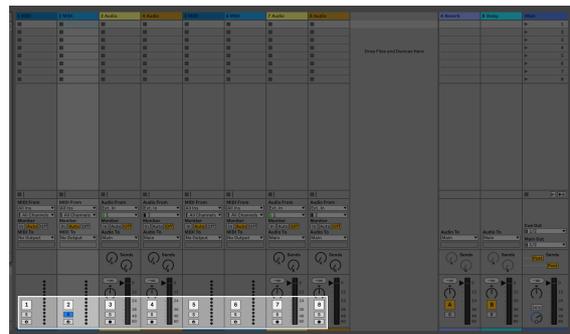
ボタンの上の列では、Solo (ソロ) と Arm (録音アーム) を切り替えることができます。

Solo モード

Solo モードでボタンを押すと、該当するトラックがソロ状態になります。



トラック 2 がソロに設定された様子。



Live では、トラック 2 がソロになっています。

Solo モードではボタンが青色に点灯します。ソロ状態のトラックは明るい青色、ソロでないトラックは薄い青色に点灯します。



ヒント

Ableton Live プロジェクトがソロモードではなくキューモードの場合は、Solo 機能でトラックキューのオン / オフを切り替えられます。キュー機能を使うことで、個別のキュー出力からトラックをプレビューすることができます。

詳細は、Ableton Live ユーザーマニュアルの「ソロとキュー」の項をご参照ください。

Arm モード

(録音) アームモードでフェーダーボタンを押すと、トラックのアームをオン/オフできます。



トラック 3 が録音アームに設定されている様子。



Ableton のトラック 3 はレコードアームされています。

アームモードでは、フェーダーボタンが赤色に点灯します。トラックがアームされていない場合は薄い赤に、トラックがアームされている場合は明るい赤に点灯します。

Mute および Select ボタン

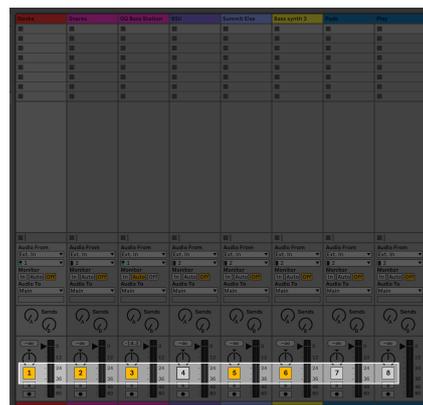
ボタンの下の列では、**Mute (ミュート)** と **Select (トラック選択)** を切り替えることができます。

Mute モード

Mute モードでは、下の列のボタンが各トラックのミュート状態を表示します。ボタンを押すことで該当するトラックのミュートをオン/オフできます。



トラック 4、7、8 がミュートされている様子 (ボタン 12、15、16 が薄く点灯)。



トラック 4、7、8 は Live でミュートされています。

Mute モードでは、ボタンがオレンジ色に点灯します。アクティブなトラック (ミュートがオフ) は明るいオレンジ色に、ミュート状態のトラックは薄いオレンジ色に点灯します。

Select モード

Select モードでは、ボタンで DAW のトラックを選択でき、各デバイスの詳細なコントロールが行えます。



Select モードでは、各ボタンが Ableton Live の該当するトラックと同じ色に点灯します。



Ableton Live の各トラックの色。

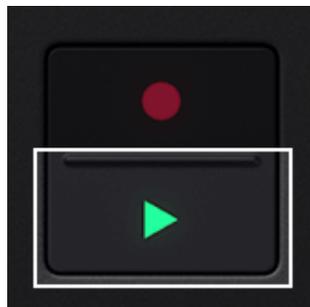
セレクトモードでは、フェーダーボタンがトラックの色に点灯します。選択中のトラックは、白く点灯します。

選択中のトラックは明るく点灯し、その他のトラックは薄暗く点灯します。

トラックを選択すると、トラック名がディスプレイに一時的に表示されます。

Ableton Live で再生ボタンを使用する

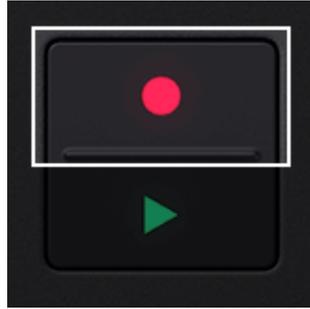
再生ボタンは、Ableton Live の再生機能をコントロールします。



- 再生が停止状態ときに再生ボタンを押すと、セッションの先頭または開始マーカー位置から再生が開始されます。
- 再生中に再生ボタンを押すと、再生が停止されます。
- Shift ボタンを押しながら再生ボタンを押すと、停止した位置から再生が再開されます。

Ableton Live で録音ボタンを使用する

録音ボタンは、アレンジメント・ビューでの録音のオン / オフを切り替えます。Ableton Live で録音中は、録音ボタンが明るく点灯します。



録音中の状態

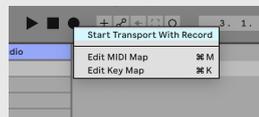


ヒント

Ableton Live のデフォルト設定では、Live の録音ボタンを押すことでトランスポートで録音が始まります。

この設定は変更可能であり、録音ボタンで Live を録音待機状態にして、その後に再生ボタンを押すことで録音が始まるように設定できます。

これを設定するには、Ableton Live の録音ボタンを右クリックし、録音で再生を開始を無効にします。



Launch Control XL 3 で Logic Pro

本章では、Launch Control XL 3 と Logic Pro の連携について解説します。

https://www.youtube.com/embed/mM8_Rw6__bY

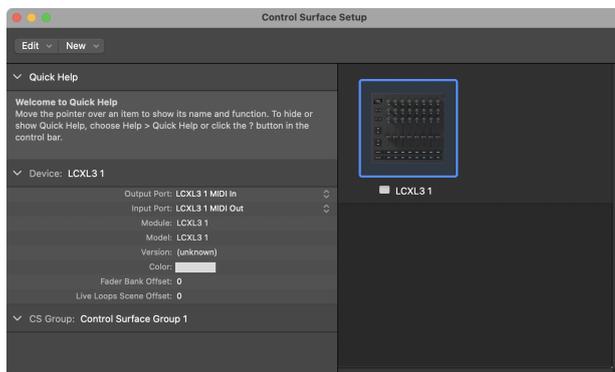
Launch Control XL 3 を Logic Pro に接続する

スクリプトをインストール後に Launch Control XL 3 を Logic Pro に接続すると、コントロールサーフェスとして自動的にセットアップされます。

Launch Control XL 3 が自動的に検出されなかった場合は、コントロールサーフェス設定でセットアップを行う必要があります。

1. 以下のページから Logic Pro 用 Launch Control XL 3 スクリプトをダウンロードします。
downloads.novationmusic.com
コンピュータのダウンロードフォルダにダウンロードされたスクリプトをインストールします。
2. Logic Pro を起動すると、自動的にセットアップが行われます。
セットアップが自動で行われなかった場合は、以下のメニューを選択してください。
 - a. Logic Pro (メニューバーのトップ)
 - b. コントロールサーフェス
 - c. 設定
3. ウィンドウ右側の Launch Control XL 3 をクリックします。
4. 入力および出カドロップダウンメニューで LCXL3 In および LCXL3 Out を選択します。
5. コントロールサーフェイス設定ウィンドウを閉じます。

正しくセットアップされていると、MIDI 設定は以下の様になります。



Track ボタンで Logic Pro のナビゲーションを行う

Track ボタンを押すと、Logic Pro の選択トラックを前後に変更できます。

トラックを移動すると、のディスプレイに移動したトラック名が一時的に表示されます。

Selected Track
Track 1's Name

Shift ボタンを長押しすると Track ボタンが点灯し、トラックの移動が行えることを示します。たとえばトラック 1 を選択中の場合、前のトラックには移動できないため Track ボタンは点灯しません。

Logic Pro でプレビュー機能を使用する

Shift ボタンは、各エンコーダーやフェーダーの設定値の確認にも使用できます。Shift ボタンを押しながらフェーダーやエンコーダーを動かすと、値は変更されせずにパラメーター名と値がディスプレイに表示されます。



ヒント

Launch Control XL 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

Logic Pro でエンコーダーを使用する

Launch Control XL 3 では、2 種類の DAW エンコーダーモードを選択できます。

モードを切り替えるには、Mode を押して、左下にある DAW Mixer (Mute/Select) または DAW Control (Solo/Arm) を押します。もう一度 Mode を押すと、モード選択を終了します。

エンコーダーモードを切り替えると、エンコーダーがマッピングされたパラメーターが切り替わります。このときフェーダーとボタンの割り当ては変更されず、常に同じコントロールが行えます。

Logic Pro での DAW Mixer エンコーダーモード

DAW Mixer モードでは、各列のエンコーダーで異なるミキサー設定をコントロールできます。

1. 現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベル。
2. 現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベル。
3. 現在のトラックバンク (8トラック) のパンニング値。

DAW Mixer モードで Logic Pro のセンドをコントロール

DAW Mixer モードでは、上の 2 列のエンコーダーで現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベルを設定します。



DAW で 2 つ以上のセンドを設定している場合は、 **Page** ボタンを押すことで目的のセンドを切り替えることができます。

1 列目のエンコーダー LED は黄色に、2 列目はオレンジ色に点灯します。センドのバンクを切り替えてもこれらの色は変更されません。

センドを変更すると、該当するセンド名がディスプレイに表示されます。

DAW Mixer モードで Logic Pro のパンをコントロール

DAW Mixer モードでは、3 列目のエンコーダーで現在のトラックバンクのパンを設定します。

パンの操作中は、エンコーダーが赤色に点灯します。



パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション (L=左、C=センター、R=右) がディスプレイに表示されます。

1 - 909 Core Kit
Pan
50L - C - 50R

Logic Pro での DAW Control エンコーダーモード

DAW Control モードでは、各列のエンコーダーで Logic Pro の以下の設定をコントロールできます。

エンコーダーの列

1. 選択中のプラグインの Smart Control または Logic EQ コントロール。
2. 選択中のプラグインの Smart Control または Logic EQ コントロール。
3. トランスポート・コントロール

DAW Control モードでの Logic Pro Smart Control および EQ コントロール

デフォルト設定では、上 2 列のエンコーダーは、選択中のプラグインの Logic Pro Smart Control をコントロールします。

プラグインまたはインストゥルメントが 8 つ以上の Smart Control を備える場合は、エンコーダーバンク・ボタンでページを切り替えることができます。

Page ボタンを押すと、上の 2 列のエンコーダーが Logic Pro の Smart Control から EQ コントロールに切り替わります。

エンコーダーを回すと、トラック名、パラメーター、値がディスプレイに表示されます。



ヒント

Smart Control は、Logic Pro 画面の左上の Smart Control ボタン、またはキーボード・ショートカット「B」でアクセスできます。



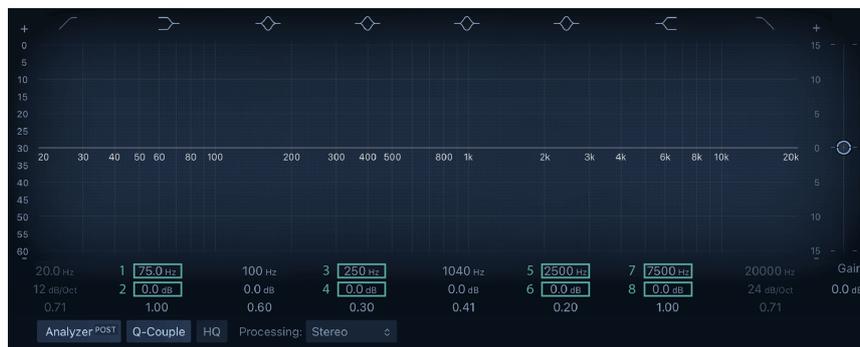
EQ エンコーダー・コントロール

EQ エンコーダー・コントロールにアクセスするには、ディスプレイに「EQ」が表示されるまで **Page v (下)** ボタンを繰り返し押します。

Mixer EQ

Mixer EQ モードを使うと、選択トラックに EQ プラグインを追加できます (インサートされていない場合)。

EQ ミキサーモードを有効にすると、各エンコーダーに Logic Pro の EQ パラメーターが割り当てられます。



エンコーダー	パラメータ	ディスプレイ表示名
1	バンド 2 周波数	Low Shelf
2	バンド 2 ゲイン	Low Shelf
3	バンド 4 周波数	Low Mid
4	バンド 4 ゲイン	Low Mid
5	バンド 6 周波数	High Mid
6	バンド 6 ゲイン	High Mid
7	バンド 7 周波数	High Shelf
8	バンド 7 ゲイン	High Shelf

Logic Pro のトランスポートをエンコーダーでコントロール

DAW Control モードでは、上から 3 列目のエンコーダーで DAW のトランスポートをコントロールできます。

トランスポート・エンコーダー・モードを使うと、DAW のアレンジメント・ビューをエンコーダーで操作できます。これにより作業中のプロジェクトを自由にナビゲート可能になります。

エンコーダーの LED は、操作の可否や関連する機能に応じて点灯します。



エンコーダー	機能	省略名	エンコーダー LED の点灯色
1	アレンジメント・ビューの再生位置	Scrub	薄い青緑色
2	横方向のズーム (再生位置を中心に)	Zoom	青色
3	ループの開始点	Cycle Start	黄色
4	ループの終了点	Cycle End	黄色
5	ループが有効	Cycle	黄色
6	マーカー選択	Marker Select	白
7	該当なし		
8	テンポ	Tempo	緑色

プレイバック・ポジション

トランスポート・エンコーダーモードでは、エンコーダー 1 で再生位置をコントロールできます (スクラブ機能)。エンコーダーを回すと、アレンジウインドウ上の再生ヘッドが拍単位で左右に移動します。

このときディスプレイには現在の再生ヘッドの位置が、小節と拍として表示されます。

Zoom

トランスポート・エンコーダーモードでは、エンコーダー 2 でズームレベルを増減します。

ズームエンコーダーを時計方向に回すとズームイン、反時計方向に回すとズームアウトします。

ディスプレイには最後に使用されたズーム値が表示されます。



Zoom
IN



Zoom
OUT

ループの開始点および終了点

トランスポート・エンコーダーモードでは、エンコーダー 3 とエンコーダー 4 で DAW 内のループの開始点と終了点を設定できます。

ループポイントを変更すると、変更中のループポイントが小節と拍単位でディスプレイに一時的に表示されます。

マーカー選択

エンコーダー 7 は、DAW の再生ヘッドで設定済みのマーカー間を移動します。

エンコーダーを時計方向または反時計方向に回すと、再生ヘッドが前または後のマーカーに移動します。

マーカーを移動すると、移動したマーカー名がディスプレイに一時的に表示されます。

アレンジメントにマーカーを挿入していない場合は、エンコーダーを回しても再生ヘッドは移動しません。この場合ディスプレイに「No Markers」と表示されます。



Marker Select
Previous/Next

マーカーの追加方法は DAW によって異なります。お使いの DAW でマーカーを追加する方法は、各 DAW のユーザーガイドをご参照ください。

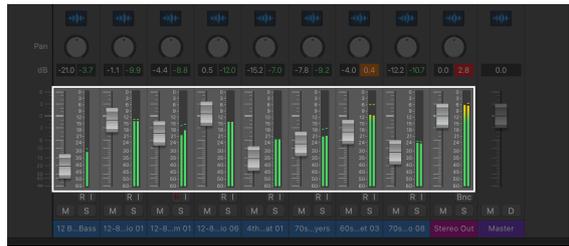
Tempo

エンコーダー 8 は、DAW のテンポを変更します。

Logic Pro でフェーダーを使用する

DAW モードでは、Launchkey のフェーダーの機能性は 1 つのみであり、現在のトラックバンクのボリュームレベルの変更に使用できます。

いずれの DAW モードでも、Launch Control XL 3 のフェーダーは常に現在のトラックバンク (8トラック) のフェーダー・ボリュームをコントロールします。



フェーダーを操作すると、変更中のトラック名とレベル値 (dB 単位) がディスプレイに一時的に表示されます。



Logic Pro でボタンを使用する

ボタンは、1 列目と 2 列目でそれぞれ 2 つの異なるパラメータを持ち、個別に切り替えて使用することができます。

- ボタンの上の列は、 **Solo** または **Arm** をコントロールします。
- ボタンの下の列は、 **Mute** または **Select** をコントロールします。

各列一番左のボタンを押すことで、各ボタン列の機能を切り替えることができます。



Logic Pro での Solo/Arm ボタン

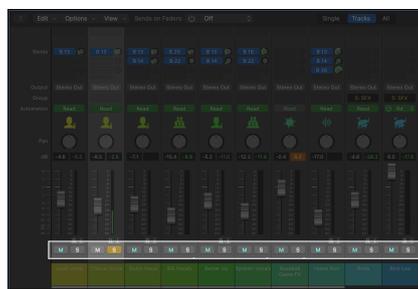
ボタンの上の列では、 **Solo** (ソロ) と **Arm** (録音アーム) を切り替えることができます。

Solo モード

Solo モードでボタンを押すと、該当するトラックがソロ状態になります。



トラック 2 がソロに設定された様子。



トラック 2 は Logic でソロになっています。

Solo モードでは、各ボタンが黄色に点灯します。ソロのトラックは明るい黄色に、ソロでないトラックは薄い黄色に点灯します。

Arm モード

(録音) アームモードでフェーダーボタンを押すと、トラックのアームをオン/オフできます。



トラック 3 が録音アームに設定されている様子。



Logic のトラック 3 は録音アームになっています。

アームモードでは、フェーダーボタンが赤色に点灯します。トラックがアームされていない場合は薄い赤に、トラックがアームされている場合は明るい赤に点灯します。

Logic Pro での Mute/Select ボタン

ボタンの下の列では、**Mute (ミュート)** と **Select (トラック選択)** を切り替えることができます。

Mute モード

Mute モードでは、下の列のボタンが各トラックのミュート状態を表示します。ボタンを押すことで該当するトラックのミュートをオン/オフできます。



トラック 4、7、8 はミュートされています (ボタン 12、15、16 は暗くなっています)。

Mute モードでは、各ボタンがオレンジ色に点灯します。ソロのトラックは明るいオレンジ色に、ソロでないトラックは薄いオレンジ色に点灯します。

Select モード

Select モードでは、ボタンで DAW のトラックを選択でき、各デバイスの詳細なコントロールが行えます。



Select ボタンは、Logic Pro の各トラックと同じ色に点灯します。

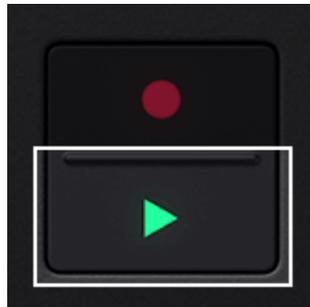
セレクトモードでは、フェーダーボタンがトラックの色に点灯します。選択中のトラックは、白く点灯します。

選択中のトラックは明るく点灯し、その他のトラックは薄暗く点灯します。

トラックを選択すると、トラック名がディスプレイに一時的に表示されます。

Logic Pro で再生ボタンを使用する

再生ボタンは、Logic Pro の再生機能をコントロールします。



- 再生が停止されている場合は、再生ヘッドの位置から再生が開始されます。
- 再生中に再生ボタンを押すと、再生が停止されます。
- Shift キーを押しながら再生ボタンを押すと、再生ヘッドがアレンジメントの開始位置またはループの開始位置に移動します。

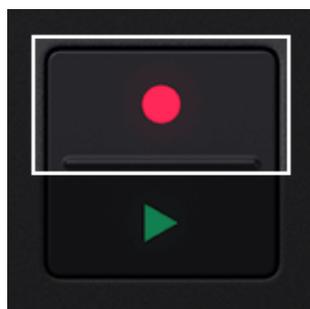
Logic Pro で録音ボタンを使用する

録音ボタンを押すと、Logic Pro の録音処理が開始されます。

録音と再生を停止するには、再生ボタンを押します。

再生を続けながら録音のみを停止する (パンチ録音時など) には、録音ボタンを再度押すか、Shift ボタンを押します。

録音中、録音ボタンは明るく点灯します。



Launch Control XL 3 で Cubase

本章では、Launch Control XL 3 と Cubase の連携について解説します。

<https://www.youtube.com/embed/qa0UP-NwWK4>

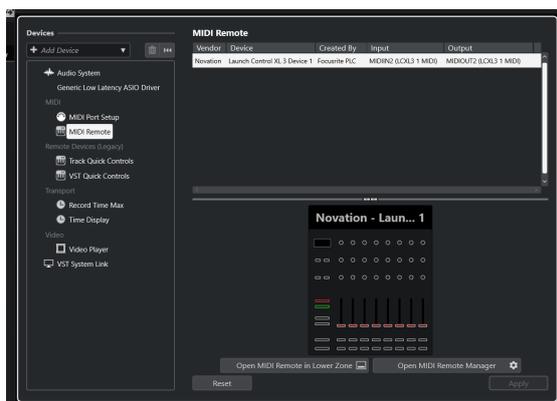
Launch Control XL 3 を Cubase に接続する

Launch Control XL 3 を Cubase に接続すると、Launch Control XL は自動的に MIDI Remote として検出されます。

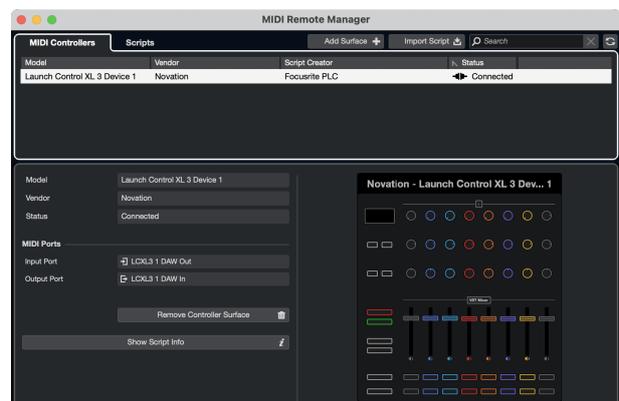
Launch Control XL 3 が自動的に認識されなかった場合は、MIDI Remote メニューでセットアップを行う必要があります。

1. 以下のページから Cubase 用 Launch Control XL 3 スクリプトをダウンロードします。
downloads.novationmusic.com
コンピュータのダウンロードフォルダにダウンロードされたスクリプトをインストールします。
2. Cubase を起動し、以下のメニューを開きます。
 - a. スタジオ (メニューバーのトップ)
 - b. スタジオ設定
 - c. MIDI Remote
3. MIDI Remote マネージャーを開きます
4. 入力および出カドロップダウンメニューで LCXL3 In および LCXL3 Out を選択します。
macOS では **DAW Out** および **DAW In**、Windows では **Port 2 (MIDIIN2)** を選択してください。

正しくセットアップされていると、MIDI Remote マネージャーの設定は以下のようになります。



Windows

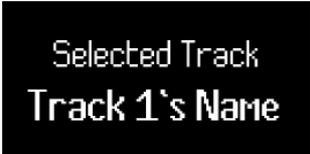


macOS

Track ボタンを用いた Cubase のナビゲーション

Track ボタンを押すと、Cubase の選択トラックを前後に変更できます。

トラックを移動すると、のディスプレイに移動したトラック名が一時的に表示されます。



Selected Track
Track 1's Name

Shift ボタンを長押しすると Track ボタンが点灯し、トラックの移動が行えることを示します。たとえばトラック 1 を選択中の場合、前のトラックには移動できないため Track ボタンは点灯しません。

Cubase でプレビュー機能を使用する

Shift ボタンは、各エンコーダーやフェーダーの設定値の確認にも使用できます。Shift ボタンを押しながら フェーダーやエンコーダー を動かすと、値は変更されせずにパラメーター名と値がディスプレイに表示されます。



ヒント

Launch Control XL 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

Cubase でエンコーダーを使用する

Launch Control XL 3 では、2 種類の DAW エンコーダーモードを選択できます。

モードを切り替えるには、Mode を押して、左下にある DAW Mixer (Mute/Select) または DAW Control (Solo/Arm) を押します。もう一度 Mode を押すと、モード選択を終了します。

エンコーダーモードを切り替えると、エンコーダーがマッピングされたパラメータが切り替わります。このときフェーダーとボタンの割り当ては変更されず、常に同じコントロールが行えます。

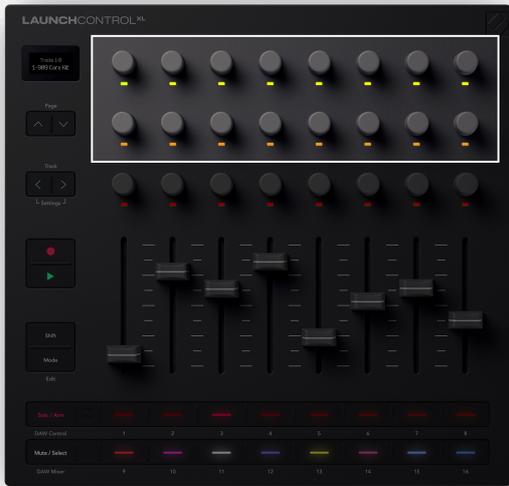
Cubase での DAW Mixer エンコーダーモード

DAW Mixer モードでは、各列のエンコーダーで異なるミキサー設定をコントロールできます。

1. 現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベル。
2. 現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベル。
3. 現在のトラックバンク (8トラック) のパンニング値。

DAW Mixer モードで Cubase のセンドをコントロール

DAW Mixer モードでは、上の 2 列のエンコーダーで現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベルを設定します。



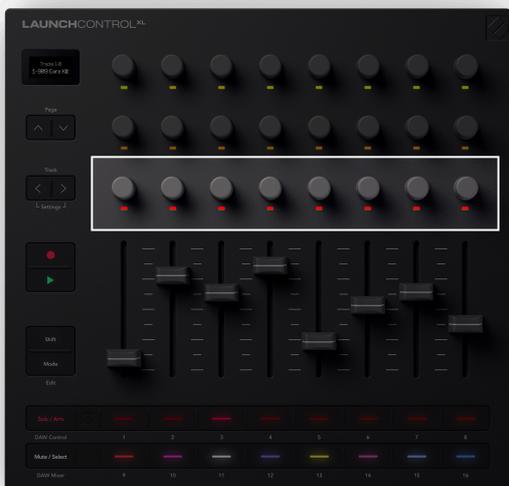
DAW で 2 つ以上のセンドを設定している場合は、**Page** ボタンを押すことで目的のセンドを切り替えることができます。

1 列目のエンコーダー LED は黄色に、2 列目はオレンジ色に点灯します。センドのバンクを切り替えてもこれらの色は変更されません。

センドを変更すると、該当するセンド名がディスプレイに表示されます。

DAW Mixer モードで Cubase のパンをコントロール

DAW Mixer モードでは、3 列目のエンコーダーで現在のトラックバンクのパンを設定します。



パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション（L=左、C=センター、R=右）がディスプレイに表示されます。



1 - 909 Core kit
Pan
50L - C - 50R

パンの操作中は、エンコーダーが赤色に点灯します。

Cubase での DAW Control エンコーダーモード

DAW Control モードでは、各列のエンコーダーで Cubase の以下の設定をコントロールできます。

エンコーダーの列

1. 選択中のトラックの 8 つの [トラッククイックコントロール](#)。
2. 選択中のトラックの [チャンネル EQ](#)。
3. [トランスポート・コントロール](#)

DAW Control モードで Cubase のトラッククイックコントロールをコントロール

DAW Control モードでは、1 列目のエンコーダーは選択中のトラックの 8 つのトラッククイックコントロールに割り当てられています。

Cubase のクイック・コントロールは、トラック毎に動作します。各エンコーダーは、選択中のトラックに設定したクイック・コントロールに基づいて割り当てられます。



ヒント

Cubase の各トラックのクイック・コントロールを割り当てるには、[Cubase ユーザーガイドのトラックのクイック・コントロール](#) に関する章をご参照ください。

Cubase の MIDI リモートセクションにて、クイック・コントロールの割り当てを確認できます。



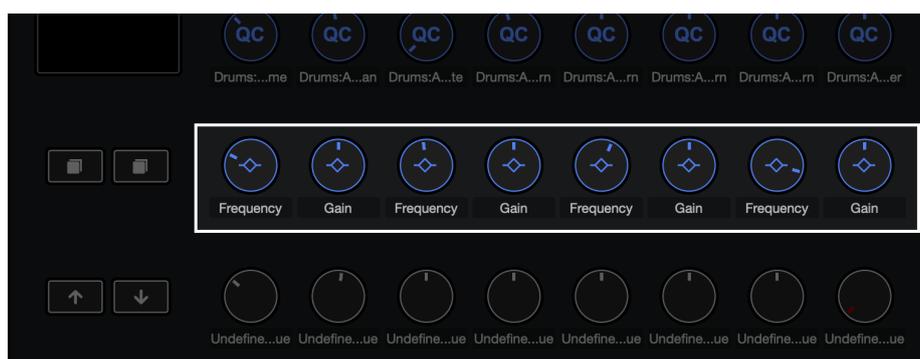
エンコーダーを回すと、クイック・コントロール名とその値がディスプレイに一時的に表示されます。



DAW Control モードで Cubase のチャンネル EQ をコントロール

エンコーダーが DAW Control モードのとき、上から 2 列目のエンコーダーは選択中のトラックの **チャンネル EQ** に割り当てられます。

このページでは、各エンコーダーが以下の様に割り当てられます。



エンコーダー	パラメータ	ディスプレイ表示名
1	バンド1周波数	Lo Freq
2	バンド1ゲイン	Lo Gain
3	バンド2周波数	LMF Freq
4	バンド2ゲイン	LMF Gain
5	バンド3周波数	HMF Freq
6	バンド3ゲイン	HMF Gain
7	バンド4周波数	Hi Freq
8	バンド4ゲイン	Hi Gain



ヒント

Cubase のチャンネルストリップを開くには、MixConsole を開き、編集したいトラックでチャンネル設定編集ボタン 

Cubase のトランスポートをエンコーダーでコントロール

DAW Control モードでは、上から 3 列目のエンコーダーで DAW のトランスポートをコントロールできます。

トランスポート・エンコーダー・モードを使うと、DAW のアレンジメント・ビューをエンコーダーで操作できます。これにより作業中のプロジェクトを自由にナビゲート可能になります。

エンコーダーの LED は、操作の可否や関連する機能に応じて点灯します。



エンコーダー	機能	省略名	エンコーダー LED の点灯色
1	アレンジメント・ビューの再生位置	Scrub	薄い青緑色
2	ズームイン / アウト	Zoom	青色
3	ループの開始点	Left Locator	パープル
4	ループの終了点	Right Locator	パープル
5	ループが有効	Cycle Activate	パープル
6	マーカー選択	Marker Select	白
7	該当なし		
8	テンポ	Tempo	緑色

プレイバック・ポジション

トランスポート・エンコーダーモードでは、エンコーダー 1 で再生位置をコントロールできます (スクラブ機能)。エンコーダーを回すと、アレンジウインドウ上の再生ヘッドが拍単位で左右に移動します。

このときディスプレイには現在の再生ヘッドの位置が、小節と拍として表示されます。

Zoom

トランスポート・エンコーダーモードでは、エンコーダー 2 でズームレベルを増減します。

ズームエンコーダーを時計方向に回すとズームイン、反時計方向に回すとズームアウトします。

ディスプレイには最後に使用されたズーム値が表示されます。

A black rectangular button with the text "Zoom IN" in white, centered.A black rectangular button with the text "Zoom OUT" in white, centered.

ループの開始点および終了点

トランスポート・エンコーダーモードでは、エンコーダー 3 とエンコーダー 4 で DAW 内のループの開始点と終了点を設定できます。

ループポイントを変更すると、変更中のループポイントが小節と拍単位でディスプレイに一時的に表示されます。

マーカー選択

エンコーダー 7 は、DAW の再生ヘッドで設定済みのマーカー間を移動します。

エンコーダーを時計方向または反時計方向に回すと、再生ヘッドが前または後のマーカーに移動します。

マーカーを移動すると、移動したマーカー名がディスプレイに一時的に表示されます。

アレンジメントにマーカーを挿入していない場合は、エンコーダーを回しても再生ヘッドは移動しません。この場合ディスプレイに「No Markers」と表示されます。

A black rectangular button with the text "Marker Select Previous/Next" in white, centered.

マーカーの追加方法は DAW によって異なります。お使いの DAW でマーカーを追加する方法は、各 DAW のユーザーガイドをご参照ください。

Tempo

エンコーダー 8 は、DAW のテンポを変更します。

Cubase でフェーダーを使用する

DAW モードでは、Launchkey のフェーダーの機能性は 1 つのみであり、現在のトラックバンクのボリュームレベルの変更に使用できます。

いずれの DAW モードでも、Launch Control XL 3 のフェーダーは常に現在のトラックバンク (8トラック) のフェーダー・ボリュームをコントロールします。



フェーダーを操作すると、変更中のトラック名とレベル値 (dB 単位) がディスプレイに一時的に表示されます。

Electric Piano
Volume
-2.3 dB

Cubase でボタンを使用する

ボタンは、1 列目と 2 列目でそれぞれ 2 つの異なるパラメータを持ち、個別に切り替えて使用することができます。

- ボタンの上の列は、 **Solo** または **Arm** をコントロールします。
- ボタンの下の列は、 **Mute** または **Select** をコントロールします。

各列一番左のボタンを押すことで、各ボタン列の機能を切り替えることができます。



Cubase での Solo/Arm ボタン

ボタンの上の列では、Solo (ソロ) と Arm (録音アーム) を切り替えることができます。

Solo モード

Solo モードでボタンを押すと、該当するトラックがソロ状態になります。



トラック 2 がソロに設定された様子。

Solo モードでは、各ボタンがピンク色に点灯します。ソロのトラックは明るいピンク色に、ソロでないトラックは薄いピンク色に点灯します。

Arm モード

(録音) アームモードでフェーダーボタンを押すと、トラックのアームをオン/オフできます。



トラック 3 が録音アームに設定されている様子。

アームモードでは、フェーダーボタンが赤色に点灯します。トラックがアームされていない場合は薄い赤に、トラックがアームされている場合は明るい赤に点灯します。

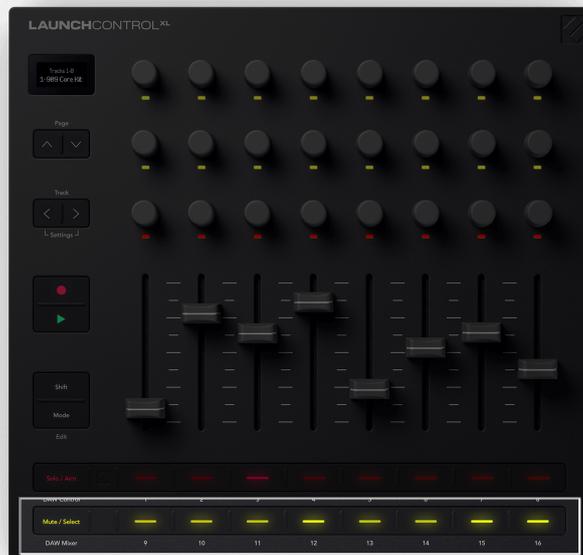
トラックの録音アーム状態を変更すると、アームを切り替えたトラック名がディスプレイに一時的に表示されます。

Cubase での Mute/Select ボタン

ボタンの下の列では、**Mute** (ミュート) と **Select** (トラック選択) を切り替えることができます。

Mute モード

Mute モードでは、下の列のボタンが各トラックのミュート状態を表示します。ボタンを押すことで該当するトラックのミュートをオン/オフできます。



トラック 4、7、8 がミュートされている様子 (ボタン 12、15、16 が薄く点灯)。

Mute モードでは、ボタンが黄色に点灯します。ミュートされているトラックは明るい黄色に、ミュートがオフ (アクティブ) のトラックは薄い黄色に点灯します。

Select モード

Select モードでは、ボタンで DAW のトラックを選択でき、各デバイスの詳細なコントロールが行えます。



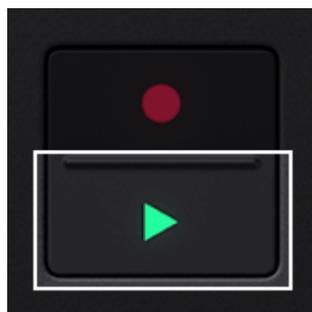
セレクトモードでは、フェーダーボタンがトラックの色に点灯します。選択中のトラックは、白く点灯します。

選択中のトラックは明るく点灯し、その他のトラックは薄暗く点灯します。

トラックを選択すると、トラック名がディスプレイに一時的に表示されます。

Cubase で再生ボタンを使用する

再生ボタンは、Logic Pro の再生機能をコントロールします。



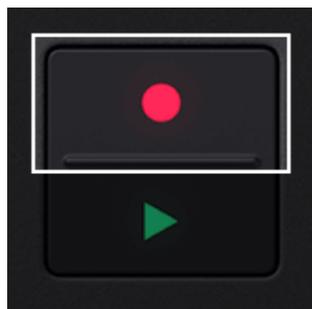
- 再生が停止状態ときに再生ボタンを押すと、セッションの先頭または開始マーカ位置から再生が開始されます。
- 再生中に再生ボタンを押すと、再生が停止されます。
- Shift ボタンを押しながら再生ボタンを押すと、再生ヘッドが直前の停止位置に移動します。

Cubase で録音ボタンを使用する

録音ボタンを押すと、Logic Pro の録音処理が開始されます。

録音中、録音ボタンは明るく点灯します。

録音ボタンを再び押すと、Cubase は再生を続けながら録音のみを停止します。録音と再生を同時に停止するには、再生ボタンを押します。



録音中の状態

FL Studio を Launch Control XL 3 でコントロールする

本章では、Launch Control XL 3 と FL Studio の連携について解説します。

https://www.youtube.com/embed/HN5fGFLhW_o?si=osSNezdQsmm1YCa0

Launch Control XL 3 を FL Studio に接続する

Launch Control XL 3 を接続すると、FL Studio は自動的に Launch Control XL を検出します。

Launch Control XL 3 が自動的に検出されなかった場合は、FL Studio の MIDI Settings でセットアップを行う必要があります。

1. 最新のスクリプトを使用できるように、最新バージョンの FL Studio をインストールしてください。
2. FL Studio を起動します。
3. 以下のメニューを開きます : Options > MIDI Settings
4. Port フィールドと Controller type ドロップダウンメニューを以下の通りに設定します。

Output

Port 番号を以下の様に設定します。

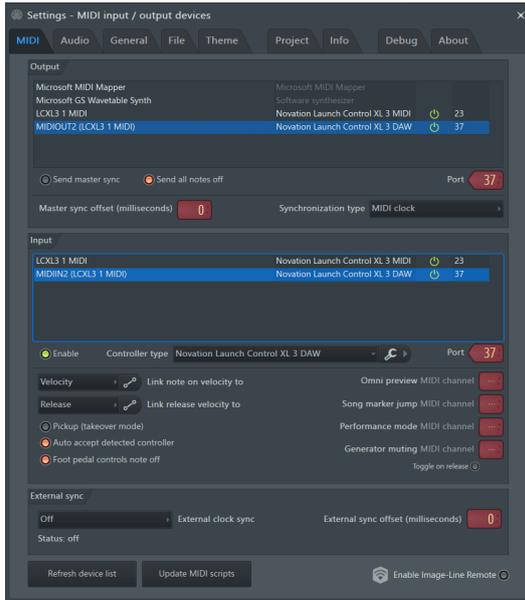
- LCXL3 1 MIDI のポート番号を設定します (例 : 23)
- LCXL3 DAW (macOS) または MIDIIN2 (LCXL3 1 MIDI) (Windows) のポートを異なる番号に設定します (例 : 37)

Input

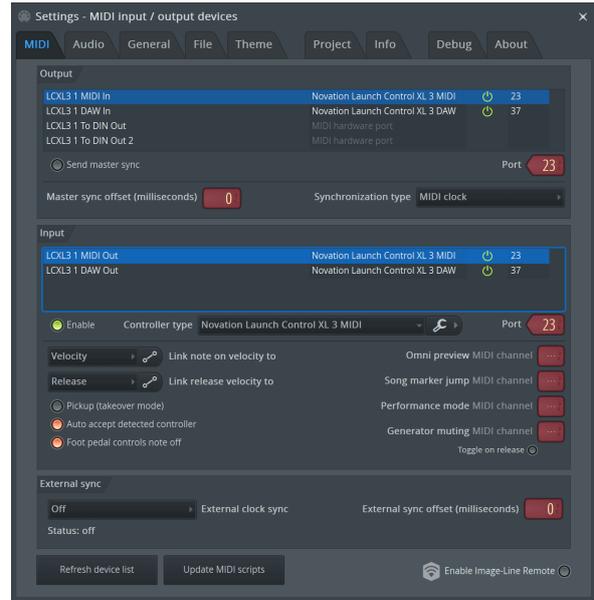
Controller type ドロップダウンメニューを以下の通りに設定し、ポート番号を前述の Output セクションのポートと同じ番号に設定します。

- LCXL3 1 MIDI Out を Novation Launch Control XL 3 MIDI およびポート番号 23 に設定します。
- LCXL3 DAW In (macOS) または MIDIIN2 (LCXL3 1 MIDI) (Windows) を Novation Launch Control XL 3 DAW およびポート番号 37 に設定します。

正しくセットアップされていると、MIDI 設定は以下の様になります。



Windows



Mac



ヒント

FL Studio で 8 つ以上のトラックを操作している場合は、ピックアップ (テイクオーバー) モードを有効にすることをお勧めします。

ピックアップ (テイクオーバー) がオフの場合、トラックバンクを切り替えると、フェーダーの物理的な位置がソフトウェアの値と一致なくなるため、フェーダーを動かすとすぐにチャンネル ラックまたはミキサーのレベルがジャンプすることがあります。

ピックアップがオンの場合、FL Studio はフェーダーが現在の値に達するまで待機し、その後は変更を加えません。これにより、不要なジャンプを防ぎ、複数のバンク間を移動する際にスムーズなミックスを維持できます。

Track ボタンを用いた FL Studio のナビゲーション

Track ボタンは、DAW Control モードと DAW Mixer モードで異なる動作に割り当てられています。

- DAW Control モードでは、Track ボタンで FL Studio の Channel Rack のナビゲーションが行えます。Shift ボタンを押しながら Track ボタンを押すと、選択チャンネルを前後に切り替えることができます。
- DAW Mixer モードでは、Track ボタンで FL Studio のミキサーを 8 トラックのバンク毎に切り替えることができます。Shift ボタンを押しながら Track ボタンを押すと、選択トラックを前後に切り替えることができます。

FL Studio でプレビュー機能を使用する

Shift ボタンは、各エンコーダーやフェーダーの設定値の確認にも使用できます。Shift ボタンを押しながらフェーダーやエンコーダーを動かすと、値は変更されせずにパラメーター名と値がディスプレイに表示されます。



ヒント

Launch Control XL 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

FL Studio で DAW モードを使用する

FL Studio では、Launch Control XL 3 の 2 つの DAW モードで FL Studio の 2 つのミキサー(メインミキサーと Channel Rack) をコントロールできます。

- DAW Control モードは、FL Studio の Channel Rack をコントロールします。
- DAW Mixer モードは、FL Studio のミキサーをコントロールします。

FL Studio で DAW Control モードを使用する

Launch Control XL 3 の DAW Control モードは、FL Studio の Channel Rack をコントロールします。

- 各列のエンコーダーは以下の様に割り当てられています。
 1. プラグイン・パラメータ
 2. 割り当てなし
 3. Channel Rack のパン
- フェーダーは、Channel Rack のボリュームをコントロールします。
- 1 列目のボタンは、Channel Rack の選択を行います。
- 2 列目のボタンは、Channel Rack のミュートを行います。

FL Studio のプラグイン・パラメータをコントロールする

DAW Control モードでは、1 列目のエンコーダーで選択中の Channel Rack プラグインの最大 8 つのパラメータをコントロールできます。

コントロールできるパラメーターの数は、プラグインによって異なります。利用可能なエンコーダーの LED が点灯し、使用できるパラメーターの数を一目で確認できます。

Channel Rack のパンをコントロールする

DAW Control モードでは、3 列目のエンコーダーで選択中のバンクの Channel Rack のパンをコントロールできます。

Channel Rack に含まれるチャンネルが 8 つ以下の場合は、利用可能なエンコーダーのみが赤く点灯します。



Channel Rack のボリュームをコントロールする

フェーダーは、選択中のトラックバンクのチャンネル・ボリュームをコントロールします。



フェーダーを動かすと、該当するトラック名とボリューム値 (dB) がディスプレイに表示されます。



DAW Control モード時に FL Studio でボタンを使用する

DAW Control モード時、各列のボタンは以下の様に動作します。

- 1 列目のボタンは、Channel Rack を選択します。各ボタンは、Channel Rack 内の該当するチャンネルと同じ色に点灯します。
- 2 列目のボタンは、Channel Rack のミュートを行います。各ボタンは Channel Rack 内の該当するチャンネルと同じ色に点灯し、ミュート状態のチャンネルは薄く点灯します。

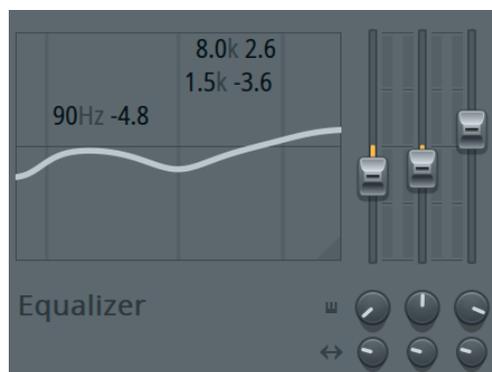
FL Studio での DAW Mixer モード

Launch Control XL 3 の DAW Mixer モードは、FL Studio のミキサーをコントロールします。

- 各列のエンコーダーは以下の様に割り当てられています。
 1. ミキサートラックの Parametric EQ
 2. FL Studio のトランスポート
 3. ミキサー・パン
- フェーダーは、ミキサー・ボリュームをコントロールします。
- 1 列目のボタンは、Solo/Arm をコントロールします。
- 2 列目のボタンは、Mute/Select をコントロールします。

FL Studio の Track EQ をコントロールする

DAW Mixer モードでは、1 列目のエンコーダーは FL Studio のミキサートラックの Parametric EQ をコントロールします。



先頭から 6 つのエンコーダーが紫色に点灯し、以下の EQ パラメータが操作可能であることを示します。

エンコーダー	パラメータ	ディスプレイ表示名
1	バンド1周波数	Low Shelf
2	バンド1レベル	Low Shelf
3	バンド2周波数	Peaking
4	バンド2レベル	Peaking
5	バンド3周波数	High Shelf
6	バンド3レベル	High Shelf
7	なし	なし
8	なし	なし

FL Studio のトランスポートをコントロールする

DAW Control モードでは、2 列目のエンコーダーで FL Studio のトランスポートをコントロールします。

トランスポート・エンコーダー・モードを使うと、DAW のアレンジメント・ビューをエンコーダーで操作できます。これにより作業中のプロジェクトを自由にナビゲート可能になります。

エンコーダーの LED は、操作の可否や関連する機能に応じて点灯します。

エンコーダー	機能	省略名	エンコーダー LED の点灯色
1	アレンジメント・ビューの再生位置		ターコイズブルー
2	ズームイン / アウト	Zoom	青
3			
4			
5	マーカー選択	Marker	白
6			
7			
8	テンポ	テンポ	緑

FL Studio のミキサーパンをコントロールする

DAW Mixer モードでは、3 列目のエンコーダーで現在のトラックバンクのパンを設定します。



パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション (L=左、C=センター、R=右) がディスプレイに表示されます。

1 - 909 Core Kit
Pan
50L - C - 50R

FL Studio のミキサーボリュームをコントロールする

フェーダーは、選択中のトラックバンクのミキサーボリュームをコントロールします。



フェーダーを動かすと、トラック名とレベル値 (dB) がディスプレイに表示されます。

Electric Piano
Volume
-2.3 dB

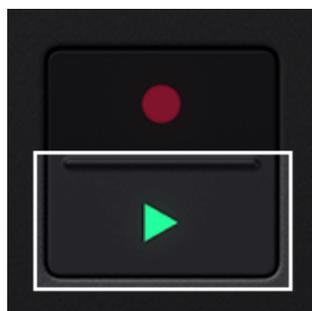
DAW Mixer モードでボタンを使用する

DAW Mixer モードでは、各列のボタンで FL Studio のミキサーをコントロールできます。

- 1 列目のボタンは、Solo または Arm をコントロールします。
 - Solo モードの時、Solo/Arm ボタンは白く点灯します。
 - Arm モードの時は、すべてのボタンが赤く点灯します。
- 2 列目のボタンは、Mute または Select をコントロールします。
 - Mute モードの時、Mute/Select ボタンは白く点灯します。
 - Select モードの時、Mute/Select ボタンは緑色に点灯します。

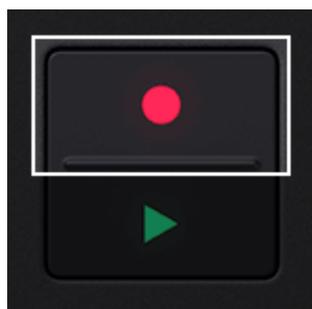
FL Studio で再生ボタンを使用する

再生ボタンは、FL Studio の再生機能を実行します。



FL Studio で録音ボタンを使用する

録音ボタンは、FL Studio の録音ボタンをトリガーします。



録音ボタンの動作は、FL Studio の録音設定によって異なります。詳細は、FL Studio [ユーザーガイド](#) をご参照ください。

Bitwig Studio を制御する Launch Control XL 3

以下のセクションでは、Launch Control XL 3 の Bitwig Studio 統合。

接続する Launch Control XL 3 ビットウィッグスタジオへ

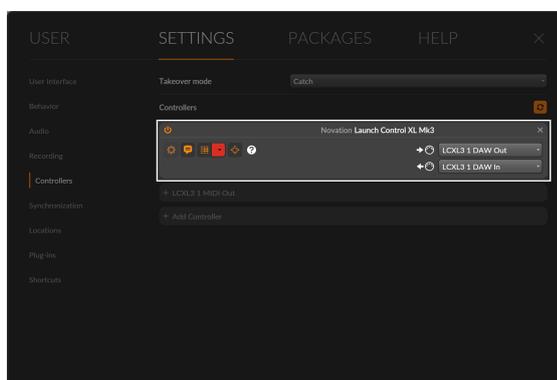
接続すると Launch Control XL 3 Bitwig Studio では、コントロール サーフェスとして自動的に検出されます。

もし Launch Control XL 3 自動的に検出されセットアップされません:

- ファームウェアが Launch Control XL 3 最新の情報は [こちら components.novationmusic.com](https://components.novationmusic.com)。
- Bitwig Studio の最新バージョンをインストールします。
- Bitwig Studio のコントローラー設定が正しいことを確認してください。

手動で設定するには Launch Control XL 3 Bitwig Studio のコントローラーとして:

1. コントローラー設定ページに移動します
ファイル (左上) > 設定 > コントローラー。
2. 探す Launch Control XL 3 コントローラーのリストに表示されます。
3. MIDI 入力ポートを LCXL3 macOS では DAW Out、Windows では MIDI IN 2。
4. MIDI 出力ポートを LCXL3 macOS では DAW In、Windows では MIDI OUT 2。
設定は次のようになります。



Bitwig Studio でのトラックのナビゲーション

Track ボタンを押すと、Ableton Live の選択トラックを前後に変更できます。

Shift ボタンを押しながら Track ボタンを押すことで、8トラック単位でトラックを移動することができます。このナビゲート方法を使うことで、リターン・トラックにも素早くアクセス可能です。

Bitwig Studio でのコントロールのプレビュー

Shift ボタンは、各エンコーダーやフェーダーの設定値の確認にも使用できます。Shift ボタンを押しながら フェーダーやエンコーダー を動かすと、値は変更されせずにパラメーター名と値がディスプレイに表示されます。



ヒント

Launch Control XL 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

Bitwig Studio のエンコーダーの使用

Launch Control XL 3 では、2 種類の DAW エンコーダーモードを選択できます。

モードを切り替えるには、Mode を押して、左下にある DAW Mixer (Mute/Select) または DAW Control (Solo/Arm) を押します。もう一度 Mode を押すと、モード選択を終了します。

エンコーダーモードを切り替えると、エンコーダーがマッピングされたパラメータが切り替わります。このときフェーダーとボタンの割り当ては変更されず、常に同じコントロールが行えます。

Bitwig Studio の DAW ミキサー エンコーダー モード

DAW Mixer モードでは、各列のエンコーダーで異なるミキサー設定をコントロールできます。

1. 現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベル。
2. 現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベル。
3. 現在のトラックバンク (8トラック) のパンニング値。



ヒント

モードを切り替えるには、Mode を押して、左下にある DAW Mixer (Mute/Select) または DAW Control (Solo/Arm) を押します。もう一度 Mode を押すと、モード選択を終了します。

Bitwig Studio の Send エンコーダーコントロール

DAW Mixer モードでは、上の 2 列のエンコーダーで現在のトラックバンク (8トラック) のセンドレベルを設定します。

DAW で 2 つ以上のセンドを設定している場合は、**Page** ボタンを押すことで目的のセンドを切り替えることができます。

センドを変更すると、該当するセンド名がディスプレイに表示されます。

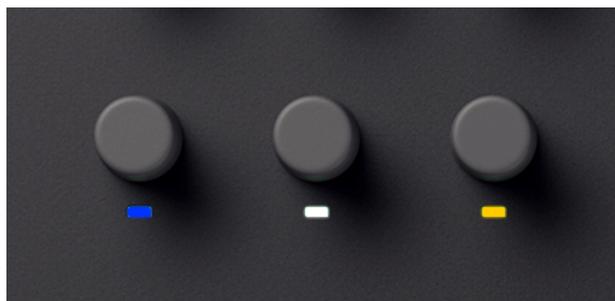
Bitwig Studio のパンエンコーダーコントロール

DAW Mixer モードでは、3 列目のエンコーダーで現在のトラックバンクのパンを設定します。

パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション（L=左、C=センター、R=右）がディスプレイに表示されます。

エンコーダーの LED は、パンのポジションに応じて点灯する色が変わります。

1. 青色に点灯 = 左。
2. 白色に薄く点灯 = センター。
3. オレンジ色に点灯 = 右。



Bitwig Studio の DAW コントロール エンコーダー モード

DAW Control モードでは、各列のエンコーダーで Ableton Live の以下のパラメータをコントロールできます。

1. 行 1 は、現在選択されているリモート コントロール ページのリモート コントロールを制御します。
2. 2 行目は、次のリモート コントロール ページ（複数のページがある場合）のリモート コントロールを制御します。
3. トランスポート・コントロール



ヒント

モードを変更するには、**モード** を押して **DAW ミキサー**（ソロ/アーム）または **DAW コントロール**（ミュート/選択）ボタンを画面左下に表示します。Launch Control XL 3 を押します **モード** モード選択を終了するにはもう一度ボタンを押します。

Bitwig Studio のデバイスコントロール

Launch Control XL 3 が DAW Control モードのとき、上 2 列のエンコーダーは選択中のデバイス内の 16 個のコントロールにマッピングされます。

デバイスのコントロールが 16 個未満になる場合もありますが、多くの場合、Bitwig Studio は画面上のデバイスの色に合わせてエンコーダー LED を色分けします。

トラックに複数のデバイスが配置されている場合は、**Shift** ボタンを押しながら **Page** ボタンを押すことで、選択デバイスを前後に切り替えることができます。

Bitwig Studio のトランスポートエンコーダーコントロール

DAW Control モードでは、上から 3 列目のエンコーダーで **DAW** のトランスポートをコントロールできます。

トランスポート・エンコーダー・モードを使うと、**DAW** のアレンジメント・ビューをエンコーダーで操作できます。これにより作業中のプロジェクトを自由にナビゲート可能になります。

エンコーダーの LED は、操作の可否や関連する機能に応じて点灯します。

エンコーダー	アレンジャー機能	ミックス機能	エンコーダー LED の点灯色
1	PlaybackPosition	PlaybackPosition	青
2	ズームアレンジャー	トラックを選択	白/黄
3	ズームトラック	シーンを選択	ホワイト/ブルー
4	ループスタート	ループスタート	青
5	ループ期間	ループ期間	青
6	ループ	ループ	青
7	Marker Select	Marker Select	黄色
8	テンポ	テンポ	青

Bitwig Studio のフェーダーの使用

いずれの **DAW** モードでも、**Launch Control XL 3** のフェーダーは常に現在のトラックバンク (8 トラック) のフェーダー・ボリュームをコントロールします。

フェーダーを操作すると、変更中のトラック名とレベル値 (dB 単位) がディスプレイに一時的に表示されます。



Bitwig Studio のボタンの使用

ボタンは、1 列目と 2 列目でそれぞれ 2 つの異なるパラメータを持ち、個別に切り替えて使用することができます。

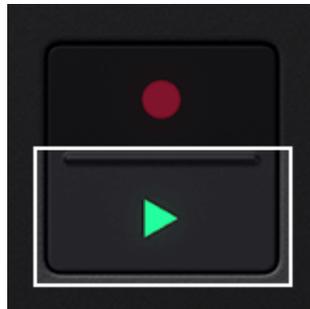
- ボタンの上の列は、**Solo** または **Arm** をコントロールします。
- ボタンの下の列は、**Mute** または **Select** をコントロールします。

各列一番左のボタンを押すことで、各ボタン列の機能を切り替えることができます。



Bitwig Studio の再生ボタンを使用する

再生ボタンは、Logic Pro の再生機能をコントロールします。

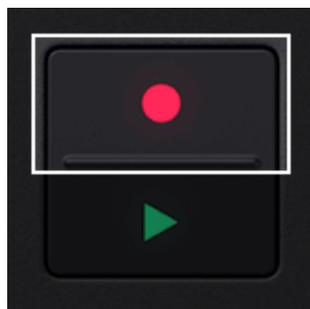


- 再生が停止されている場合は、開始マーカーから再生が開始されます。
- 再生中に再生ボタンを押すと、再生が停止されます。

Bitwig Studio の録音ボタンを使用する

録音ボタンを押すと、Bitwig Studio の録音機能が起動します。録音を開始するには、再生ボタンを押してください。

トランスポートが再生されている間に、オーバーダブのためにパンチインしたい場合は、録音ボタンを押して、アームされたトラックの録音を開始および停止できます。



録音中の状態

使用して Launch Control XL 3 他の DAW と

あなたはあなたの Launch Control XL 3 他の DAW でも使用できます。統合はそれほど深くはありませんが、HUI を使用すればいくつかの主要機能は使用できます。



注記

HUI モードの機能は、一般的な DAW コントロール セクションとは異なります。

HUI とは何ですか？

HUI (Human User Interface) は、MIDI コントローラーがカスタムコントローラースクリプトなしで DAW と通信できるようにする MIDI プロトコルです。専用のスクリプトがない場合、お使いの DAW が HUI をサポートしている可能性があります。

これにより、コントローラーは次のような基本的な機能を処理できるようになります。

- ミキサーコントロール (ボリューム、パン、ミュート/ソロ)
- トランスポートコントロール (再生、停止、録音)
- トラック選択

どの DAW が HUI をサポートしていますか？

あなたはあなたの Launch Control XL 3 多くの DAW では HUI 経由で設定できます。以下の DAW の設定手順を概説しましたが、ほとんどの DAW で手順は同様です。

- リーパー (部分的な HUI)
- スタジオワン
- プロツール

セットアップ Launch Control XL 3 DAW の HUI

ほとんどの DAW では HUI の統合は自動ではありません。そのため、いくつかの設定を変更する必要があります。Launch Control XL 3 働く。

死神

ウィンドウズ

1. オプション > 環境設定... に移動します。
2. クリック 'コントロール/OSC/ウェブ'。
3. クリック '追加' を選択して HUI (部分)。
4. 選択 **MIDI IN 2** 下 **MIDI 入力 Launch Control XL 3**。
5. 選択 **MIDI OUT 2** 下 **MIDI 出力 Launch Control XL 3 ミディ**。
6. クリック 'わかりました'。
7. クリック 'わかりました' をクリックしてウィンドウを閉じます。

macOS

1. **Reaper > 設定... > コントロール/OSC/Web に移動します。**
2. クリック 'コントロール/OSC/ウェブ'。
3. クリック '追加' を選択して HUI (部分)。
4. **Focusrite を選択 - Novation - Launch Control XL 3 - DAW 出力 下 'MIDI 入力':**
5. 選択 **フォーカスライト - ノベーション - Launch Control XL 3 - DAW 入力 下 'MIDI 出力':**
6. クリック 'わかりました'。
7. クリック 'わかりました' をクリックしてウィンドウを閉じます。

スタジオワン

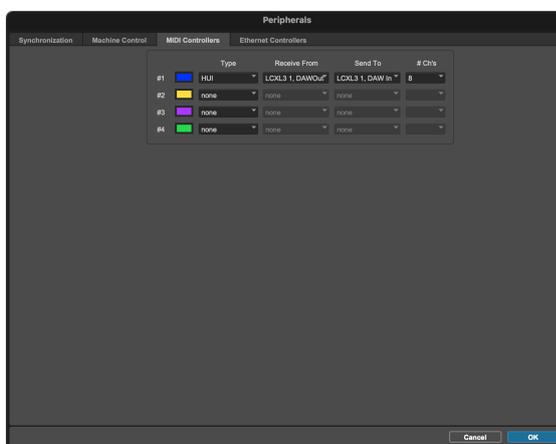
DAW コントロール

1. クリック 'スタジオワン画面上部に「」が表示されます。
2. クリック 'オプション'。
3. 「外部デバイス'。
4. クリック '追加'。
5. 「マッキー > HUI 左側のメニューで「」オプション」をクリックします。
6. セット '受信元' そして '送信先' に Launch Control XL 3 の **DAW ポート** (2 番目のエントリ):
 - **MIDI IN 2** そして **MIDI OUT 2** Windows の場合。
 - **DAW Mac** の場合。
7. クリック 'わかりました' ウィンドウの下部に「」が表示されます。

これで、ミキサーを制御します。

プロツール

1. へ移動 **Pro Tools > セットアップ > 周辺機器...**
2. 「**MIDI コントローラー**」タブ:
3. 下 '**タイプ**'、選択 **ファイ** :
4. 下 '**受信元**'、選択:
 - ウィンドウズ: **定義済み > MIDIIN2(Launch Control XL 3 MIDI)[エミュレート]**。
 - macOS: **定義済み > Launch Control XL 3 DAW 出力**
5. 下 '**送信先**'、選択
 - ウィンドウズ: **定義済み > MIDIOUT2 (Launch Control XL 3 MIDI)[エミュレート]**。
 - macOS: **定義済み > 定義済み > Launch Control XL 3 DAW 入力**。
6. 正しく設定されていれば、設定は以下になります。「**# Ch の**」を **8** に設定:



7. クリック '**わかりました**'。

HUI 経由で動作する機能は何ですか？

HUI の実装は DAW によって異なりますが、一般的には次のものを制御できます。

- **ナビゲーション**—トラック<そしてトラック>トラック間を移動します。
- **トランスポート コントロール**は、DAW 内の対応するトランスポート機能にマップされます。
- **フェーダー 1 ~ 8** は、現在のトラック バンクの音量レベルを制御します。
- 一番上の列のエンコーダーはパンとセンドを制御します。
- ボタンコントロール **ソロ/アーム/ミュート/選択**。

Launch Control XL 3 の Settings (設定) ページ

Settings ページでは、Launch Control XL 3 のワークフローやハードウェアに関する設定を行います。設定可能な項目は以下の表の通りです。

左右の Track <> ボタンを同時に 0.3 秒押し続けると、Settings メニューにアクセスできます。

Settings ページの操作方法

- Page ▲▼ ボタンを押すと、設定項目が切り替わります。
- 設定値の変更は、左上のエンコーダー、もしくは Track ◀▶ ボタンで行います。値を変更すると、現在の値がディスプレイに表示されます。

Mode ボタンを押すと Settings ページを終了し、Launch Control XL 3 が直前の状態に復帰します。

項目	値の範囲	説明	デフォルト値
Global Channel	1-16	カスタムモードで送信される MIDI メッセージのグローバルチャンネルを設定します。	1
MIDI Thru	On/Off	オンにすると、入力されたすべての MIDI メッセージが DIN 出力 2 に転送されます。	Off
LED Brightness	1-10	LED の輝度を設定します。	8
Screen Brightness	1-10	ディスプレイの輝度を設定します。	8
Message Timer	1-10	一時的なメッセージがディスプレイに表示される時間を設定します。	3
エンコーダ応答	遅い 中くらい 速い	エンコーダーを回す速さに応じてエンコーダーがどのように反応するかを設定します。 高速モードでは、素早い回転で全範囲をスイープできます。低速モードでは、同じ範囲をより多くの回転でスイープし、より高度なコントロールを実現します。 すべての設定において、エンコーダーをゆっくり回すことで正確な変更を行うことができます。 これはすべてのカスタム モードに影響しますが、DAW モードには影響しません。	中くらい
フェーダーピックアップタイプ	ジャンプ 選び出す	ジャンプでは、フェーダーを動かすとすぐにコントロールが MIDI を出力します。 ピックアップモードでは、コントロールしたいパラメータの位置に移動した場合にのみ MIDI 出力が行われます。これにより、突然のパラメータのジャンプを防ぎます。 これはすべてのカスタム モードに影響しますが、DAW モードには影響しません。	ジャンプ

ブートルoaderモード

ブートルoaderでは、通常の操作中に変更する必要の無い一部の設定を変更できます。

ブートローダーモードに入るには

1. Launch Control XL 3 から USB ケーブルを取り外します。
2. Page ボタン両方を押し続けます。
3. USB ケーブルを接続し、電源を投入します。
4. Launch Control XL 3 の電源がオンになるまで Page ボタンを押し続けます。

ブートローダーモードでは、以下の設定を変更できます。

1. 録音ボタンで、イージースタート機能のオン / オフを切り替えます。
2. デバイス ID - 1 列目のボタンを使用してデバイス ID を設定できます。複数の Launch Control XL 3 を DAW ソフトウェアで使用する場合に便利な機能です。

ブートローダーモードを終了するには

- 再生ボタンを押します。

Launch Control XL 3 仕様

技術仕様

コントロール	
スクリーン	OLED ディスプレイ
エンコーダー	RGB LED 付きエンコーダー x 24
フェーダー	60mm フェーダー x 8
フェーダーボタン	フェーダー毎に 2 つ、計 16 のボタン
ナビゲーション	Page ボタン x 2 (▲および▼) Track ボタン x 2 (◀および▶)
トランスポート・ ボタン	録音 再生
その他のボタン	Shift - 二次機能へのアクセスに使用 Mode - コントロールサーフェスのその他のコントロールを変更するために使用
接続性	USB-C ポート x 1 - 電源およびデータ通信に使用 MIDI ポート x 3 (In、Out、Out2/Thru) Out ポートおよび Out2/Thru ポートは、MIDI ポート経由の電源供給をサポート (最大 3.3V、10mA) ケンジントンロック・ ポート

重量および寸法

重量	902g (1.99lbs)
高さ	43mm (1.69") including knob caps
幅	250mm (9.84")
奥行	239mm (9.41")



Launch Control XL 3 の外観および寸法。

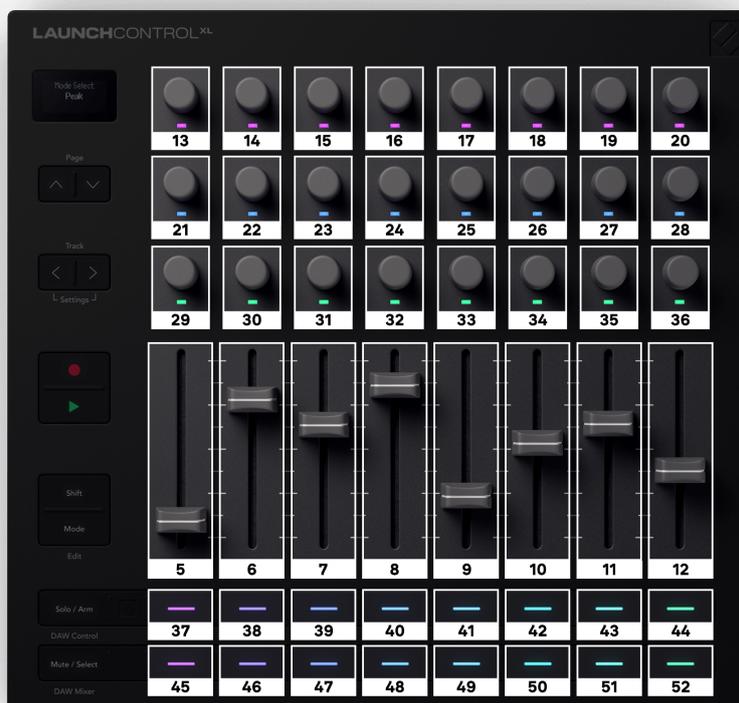
Launch Control XL 3 保守パーツ

部品番号	部品	カテゴリ
CBLE002141	FFC ケーブル 40 ピン / ピッチ : 0.5mm / 長さ : 36mm / 同一面接点 (内部接続用ケーブル)	ケーブル
FFMB002415	Launch Control XL 3 ノブキャップ	プラスチック
FFMB002414	Launch Control XL 3 フェーダーキャップ	プラスチック

Launch Control XL 3 付録

デフォルトモード (16) のパラメータ

モード 16 はパラメータが固定されており編集できません。デフォルトモードとして以下の CC 番号が MIDI チャンネル 16 で設定されています。



その他の情報

トラブルシューティング

Launch Control を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、こちらをご参照ください：

novationmusic.com/get-started

Launch Control に関して不明な点がある場合には、いつでもヘルプセンターをご利用いただけます。また、以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただくことも可能です：

support.novationmusic.com

のアップデートを確認することをお勧めします。Launch Control 最新の機能と修正が適用されます。を更新するには Launch Control のファームウェアを使用する必要があります。コンポーネント：

components.novationmusic.com

商標

Novation の商標は Focusrite Audio Engineering Ltd. の所有物です。本マニュアルに記載されているその他すべてのブランド名、製品名、会社名、およびその他の商標登録または商標は、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

Novation は、本マニュアルに記載されている情報が正確で完全であることに万全を期しております。本マニュアルまたは記載されている機器の使用に起因する機器、第三者または機器の所有者に対する損失または損害について、Novation はいかなる場合も責任を負いません。本マニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。仕様および外観は、リストおよび例示されているものとは異なる場合があります。

著作権および法定通知

Novation は Focusrite Group PLC の登録商標です。Launch Control は Focusrite Group PLC の商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。

2026 © Focusrite Audio Engineering Limited. 無断転用禁止。



静電放電 (ESD) について

強力な静電放電 (ESD) が本製品の正常な動作に影響を及ぼす場合があります。その場合には、USB 接続を解除・再接続して再起動することで、正常な動作に戻ります。

謝辞

Novation は、本製品のために尽力してくれた以下の Launchkey MK4 チームメンバーに感謝いたします。

Mobashir Ahmed、Ben Bates、Taavi Bonny、Nick Bookman、Conor Boyd、Adam Briffa、Robert Briggs、Hannah Budworth、Mario Buoninfante、André Cerqueira、William Charlton、Jason Cheung、Richard Collard、Sam Counihan、Vidur Dahiya、Emma Davies、Kai Van Dongen、Ed Fry、Taren Gopinathan、Ryan Gray、Martin Haynes、Jake Helps、Jay Hutchins、Loz Jackson、Eddie Judd、Daniel Kay、Arnav Luthra、Paul Mansell、Ben McCurdy、Rudy McIntyre、Vini Moreira、Julian Mountford、Gagan Mudhar、Danny Nugent、Nick Van Peteghem、Pierre Ruiz、Hasan Saeed、Sophia Sanghera、Dan Stephens、Cerys Williams、Lewis Williams、Alex Wu、Greg Zielinski、Sandor Zsuga

そして勿論ベータテスターの皆様にも感謝の意を表します。

執筆：Ed Fry